

ポータブルDVDプレーヤー付  
7インチワンセグ  
ポータブルナビゲーション  
TNK-740DTD 用

# 本体操作説明書

Ver 1.0.1

※ナビゲーション操作については、  
別冊「ナビゲーション操作説明書」をご覧ください。

ポータブル  
DVDプレーヤー  
付属



- この度は、7インチポータブルナビゲーションをお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。
- ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく理解されてからお使いください。
- お読みになった後は、本書をいつでも見られる所に大切に保管してください。
- 最終ページに保証書が付いています。お買い上げ日、販売店名の記載もしくは同内容の記載された書類とともに大切に保管してください。

# ご使用上の注意

ご使用前に、必ず本書および付属の説明書をお読みいただき正しくおつかいください。

## ご注意！

### 《内蔵リチウムイオン充電式バッテリーについて》

- 炎天下や火のそばなどの60℃以上になる高温の場所では使用したり放置したりしないでください。

リチウムイオンバッテリー内部で異常な化学反応が起こり液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

- 強い衝撃を与えたり、鋭利なもので刺したり叩いたりしないでください。

リチウムイオンバッテリーが破裂や変形したりガス漏れなどにより、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

- 充電温度範囲は0～45℃で行ってください。

リチウムイオンバッテリーが急激に加熱されたり密閉状態が保てなくなり、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。また、バッテリー性能の低下や寿命が短くなることがあります。

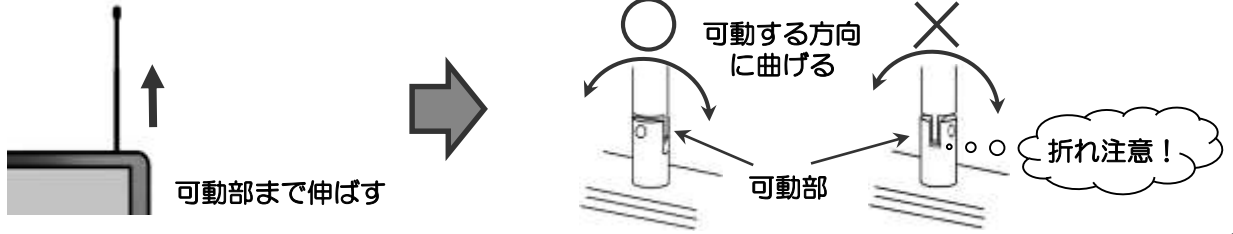
炎天下の車内や直射日光の強いところなど高温になるところで使用したり放置したりしないでください。

ご使用後は、取り外して日陰など60℃以下のところで保管してください。

# ご使用になる前に

## <アンテナ折れに注意！>

アンテナは無理に動かさないでください。  
可動可能な方向以外に曲げた場合、折れる恐れがあります。



## <<タッチパネルについて>>

本製品のタッチパネルは静電容量式を使用しています。  
指を触れるとパネル表面の微弱電流の変化を感知して位置を検出します。  
指で画面を軽くタッチしてください。  
感圧式タッチパネルとは違い、圧力で検知するものではありません。  
強く押ししたり市販の静電容量対応以外のペン等で押ししたりしないでください。

※指でタッチするときは、以下の点にご注意ください。

- 濡れた指でタッチしないでください。
- 指の腹でタッチしてください。（ツメでは反応しません。）
- 素手でタッチしてください。
- 手袋をしていると反応しません。

## <<液晶画面の残像について>>

液晶画面の特性上長時間静止画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像（焼き付きのような症状）が発生する場合があります。

液晶画面の残像を防ぐには

- メニュー画面のような静止画像を長時間つけたままにしないでください。
- すぐに使用しない場合は、画面を消すか明るさを控えめにしてください。

液晶画面に残像が残ってしまった場合、しばらく動きのある動画を再生すると徐々に消えてなくなります。

## <<SDカード、電源アダプターについて>>

- SDカードの必要以上の抜き差しはおひかえください。抜き差しする場合は、SDカードの端子部（金属部）には触れないでください。（故障の原因となります）
- 車載用DCアダプターの必要以上の抜き差しはおひかえください。（故障の原因となります）抜き差しを行う際は、まっすぐに抜いてください。ねじったりすると故障の原因となります。
- 車載用DCアダプターやコードを必要以上に動かしたりさわったりしないでください。（接触不良の原因となります）
- 付属の車載用DCアダプターはDC 12VからDC 24Vまで使用可能です。  
DC 12V車、DC 24V車のシガープラグへ直接接続してください。
- 電圧変換器（DC-DCコンバーター等）を使用すると故障の原因になることがあります。  
社外の変換器などのご使用によって発生した不具合については当社はその責任を負いかねます。

## <<登録情報について>>

大切な情報（地点登録など）は、万が一に備えてメモなどバックアップをおとりください。  
修理の際は、初期状態に戻すことがありますのでその際は必ずバックアップをおとりください。

# 初めてお使いになるときに ～初期設定について～

## ＜＜パネルの保護フィルムについて＞＞

- 液晶パネル面に、製造および輸送時のキズ保護用のフィルムを貼付けてあります。  
**ご使用になる時は保護フィルムは剥がしてください。**  
貼ったままでは画面上に縞模様がでたりタッチスイッチの動作不良になることがあります。

## ＜＜ナビゲーションのご使用の前に＞＞

ご使用前に、GPS衛星からの情報を受信できることをご確認ください。

**屋外の上空の開けた場所で、  
現在地を表示するまでお待ちください。**

初めて使用する時や前回使用した場所から離れている場合、  
数十分かかる場合があります。動かさずにお待ちください。

### ～受信状況確認する場合～

一度ナビを終了して「設定」→「GPS情報」を  
タッチすると受信状況表示



## ＜＜テレビの設定＞＞

テレビをはじめてご覧になる前に、  
**チャンネル設定（スキャン操作）を必ず行ってください。**

- スキャンは受信環境の良いところでしばらく静止して安全を確認の上、スキャンしてください。  
※詳しくは20-21ページをご覧ください。

## ＜＜お車への取付＞＞（運転の前に必ず確認してください。）

●お車への取付の際は、視界を確保した上しっかりとゆるみのない  
ことを確認してください。※詳しくは12～15ページをご覧ください。

●直射日光の当たる場所などに長時間放置しないでください。

夏場など高温時に長時間放置していると、スタンドの吸着力が弱くなったり、本体製品や  
スタンドなどの変形により落下してけがをしたり、故障の原因となることがあります。  
しばらくお使いにならない場合は、取り外して日のあたらない場所に保管してください。

## ～～こんなとき～～

### ◆電源がはいらない。

充電が0になると電源コードをつないでも電源がはいりません。

その際は、電源コードをつないで30分以上充電後、電源をいれてください。

# 目 次

1. はじめに	-----1
2. 安全上のご注意	-----2
3. 使用上のお願い	-----6
4. 商品構成	-----9
5. 各部の名称	-----10
6. リセット機能	-----11
7. 車への取付け	-----12
8. 本体電源の取扱方法	-----18
9. ワンセグTV	-----20
9-1.チャンネル設定（スキャン操作）	-----20
9-2.ワンセグTVをみる	-----22
9-3.ワンセグTVの各種設定	-----22
9-3-1.設定「チャンネル」	-----23
9-3-2.設定「基本設定」	-----23
9-3-3.設定「ビデオ」	-----24
9-3-4.設定「情報」	-----24
9-4.ワンセグTV（EPG番組表）	-----25
9-5.ワンセグTV（録画／再生）	-----26
10. メディア(動画、音楽、写真)	-----27
10-1.動画	-----28
10-2.音楽	-----29
10-3.写真	-----30
11. 設定	-----31
11-1.ボリューム設定	-----31
11-2.言語設定	-----32
11-3.GPS管理	-----32
11-4.ファクトリーリセット設定	-----33
11-5.バックライト設定	-----33
11-6.日付・時間設定	-----34
11-7.ナビ設定	-----34
11-8.システム情報	-----35
12. ポータブルDVDプレーヤー（付属）	-----36
12-1.各部の名称	-----39
12-2.リモコン・本体の準備および接続	-----44
12-3.DVDモードで再生	-----46
13. 音楽CDのファイルの保存（リッピング）	-----51
14. ソフトウェア仕様	-----52
15. ハードウェア仕様（ナビゲーション）	-----53
16. ポータブルDVDプレーヤー仕様	-----54
17. 困ったときには	-----55
18.お問い合わせ先	-----56
保証書	-----巻末

# 1 はじめに

この度は当社ナビゲーションをお買い求めいただき誠にありがとうございます。快適にご使用していただくために下記説明を補足いたします。ご一読いただき正しくお使いください。

本書の画像写真やイラストは説明のため、実物と異なる場合がありますが、ご了承ください。

## GPSナビゲーションとは

本機に搭載されておりますGPSによるナビゲーションシステムは、衛星よりの位置情報を補足することで目的地までのナビゲーションを行うシステムです。従いまして、GPSナビゲーションは車速やジャイロを使用して自車位置と目的地までの到着ルートを算出するナビゲーションとは仕様が異なりますのでその特性をご理解の上、ご使用下さいますようお願い致します。




### <<GPSナビゲーションの特性>>

- ①天候・道路環境・建物環境などによっては、正確なルート表示・案内が行われない場合があります。
- ②設定されたルート通りの走行を行わなかった場合などリルート機能により頻繁に目的地までの再計算を行います。場合によっては搭載されているCPUに負荷が掛かりフリーズする場合があります。この場合は本機のリセットボタンを使用することで復元されます。トンネル内や道路事情・建物環境によってGPSが衛星を補足する条件が悪化した場合にはこれらの環境が改善された場合でも正しい動作をしない場合がありますのでご了承ください。
- ③電源をOFFする際、スリープモードと電源OFF（完全に電源を切る）モードがあります。スリープモードの場合、ナビのデータを記憶しているため時々CPUに負荷がかかる場合があります。この場合は本機のリセットボタンを押してください。
- ④電源投入後しばらくの間は現在地の測位を行いますのでルート設定出来ない場合があります。目安は本機の画面上に現在時間が表示されますと測位完了しております。ルート設定や各種機能进行操作される場合は建物障害の無い安全な場所に停車して行ってください。運転中の操作は絶対におやめください。
- ⑤はじめてお使いのときや前回使用したときから遠く離れたのち電源を入れたとき、GPS衛星からの位置情報が大きく変わりデータ量が多くなるため、数十分時間がかかる場合があります。（コールドスタートと呼びます。）いったん受信完了し測位出来ましたらその後は、GPSからの受信は速くなります。







# 2 安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みにになり、記載事項をお守りください。

## ■表示の意味

表示	表示の意味
 <b>危険</b>	この表示を無視し取扱いを誤った場合人が死亡または重傷(*1)を負う可能性が高いことを示します。
 <b>警告</b>	この表示を無視し取扱いを誤った場合人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
 <b>注意</b>	この表示を無視し取扱いを誤った場合人が傷害(*2)を負う、又は物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。

## ■図記号の意味

図記号	図記号の意味
 <b>禁止</b>	“  ”は、禁止(やってはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 <b>指示</b>	“  ”は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 <b>注意</b>	“  ”は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

\*1:重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、骨折、中毒、感電などの後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

\*2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

\*3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

## 異常を感じたとき

### 警告

●煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店又はサポートセンターにご連絡ください。

●内部に水や異物がいいたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店又はサポートセンターに点検をご依頼ください。

●落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店又はサポートセンターに点検をご依頼ください。

●電源コードが傷んだり、プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店にまたはサポートセンターに交換をご依頼ください。

## 使用するとき

- 修理・分解・改造しないこと



分解禁止

火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはサポートセンターにご依頼ください。

- 内部に異物を入れないこと



異物挿入禁止

針やクリップなどの金属類、紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災や感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 雷が鳴り出したら本機や電源プラグに触れないこと



接触禁止

火災・感電の原因となります。

- 水に濡らしたりしないこと



水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。飲み物をこぼしたりしない。また雨天、降雪時や海岸、水辺でのご使用時は特にご注意ください。

- 歩行中や乗り物を運転しながらの使用時は周囲の安全を十分注意し直視しないこと



禁止

交通事故の原因となります。

- ルート案内中でも、常に実際の交通規則に従う



禁止

交通事故の原因となります。



## 注意

- ヘッドホン、イヤホン等をご使用になるときは音量をあげすぎないこと



禁止

大きな音量で聞くと聴覚機能に悪影響をあたえることがあります。

- 電源を入れる前には音量を最小にすること、外部接続時はその音量を最小にすること



指示

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

- 液晶画面の破損により液体が漏れてしまった場合、液体を吸い込んだり飲んだりしないこと



禁止

中毒をおこすおそれがあります。万一、目や口に入った場合は、水で洗い医師の診察を受けてください。

## 設置するとき

- 屋外や風呂、シャワー室など水のかかる恐れのある場所には置かないこと



風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。



## 警告



●ぐらついたり傾いた所など不安定な場所や振動のある場所には設置しないこと



禁止

本機が落下して、けがをしたり、故障、破損の原因となります。

●ひざの上などで使用するなど上に肌にふれないこと



禁止

低温やけどの原因となります。  
(低温やけどは体温より高い温度のものを長時間あてていると発生するやけどです。)



## 注意

●温度の高い場所に置かないこと



禁止

直射日光の当たる場所・締め切った車内、ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因および破損、部品の劣化となることがあります。

●湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと



禁止

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災や感電の原因になります。

●風通しの悪い場所で使用しない



禁止

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。また、温度上昇により、動作不安定になることがあります。

●本機の移動させる場合は、DCアダプターやその他外部接続線はずすこと



指示

配線を抜かずに運ぶとコードが傷付き火災・感電の原因となったり、落下によるけがの原因となることがあります。

## 車載用DCアダプターについて



## 警告

●DCアダプターを分解、改造、修理しないこと



分解禁止

火災・感電の原因となります。

●DCアダプターは付属のものをを使用すること



禁止

指定以外のシガーアダプターを使用すると火災・故障の原因となることがあります。

●DCアダプターのコードは下記注意してください。

・傷付けたり、加工したり、加熱したりしないこと

・引張ったり、重いものをのせたりはさんだりしないこと

・無理に曲げたりねじったり束ねたりしないこと



指示

火災・感電の原因となります。

●DCアダプターはDC12V～24V対応です。電源変換器は使用しないこと



禁止

電圧変換器（DC-DCコンバータ）を使用すると故障の原因になることがあります。

●時々電源プラグを抜いて接点をきれいに掃除すること



指示

電源プラグの絶縁低下により火災の原因になります。

## 注意

●ぬれた手でDCアダプターを抜き差ししないこと



指示

感電の原因になります。

●電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと



指示

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

●旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと



プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

●付属のDCアダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと



禁止

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

●電源プラグはソケットの奥まで確実に差し込むこと



指示

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

### ●注意事項

- GPS電波が受信できない場所（建物の中、地下、見晴らしの悪い場所等）でナビゲーション機能は利用できません。また、悪天候、車内の無線機器、フロントガラス反射材などによる障害により利用できない場合もあります。
- GPS衛星は、米国国防総省により運用されていますが、GPS衛星の精度低下や故障によって不都合が生じる場合があります。
- サージ電流からの保護のためにエンジン始動後にシガー電源を接続することをお勧めします。
- 液晶画面は、傷つきやすい硬いものでタッチしないでください。
- 初回の充電は電源OFFにして充電し、高温、高湿度の場所で充電は行なわないでください。また、電池保護のため長時間使用しない場合でも2週間に1度など定期的な充電をお勧めします。
- 地図や検索で使われる情報は、その正確性、最新性について現状と異なる場合がありますのでご注意ください。
- 本機を廃棄される際は、お客様が登録したデータが流出する可能性がありますので、登録内容を完全に消去してから廃棄されることをお勧めします。

### ●免責事項

- 本製品の提供するすべての情報について、その正確性、有用性、最新性、適切性など何ら法的保障をするものではありません。
- お客様または第三者が本製品を利用、また使用不能によって生じた損失、損害には一切責任を負いかねます。
- お客様または第三者による本製品を利用しての事故や業務上の損害、お客様が入力したデータの消失による損害も保障いたしません。

# 3 使用上のお願い

## 取扱いについて

- 液晶画面を傷つけたり衝撃を与えたりしないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。カバンに入れたり、体に身につけたりした場合にも十分ご注意ください。
- 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、梱包材を使用し振動が伝わらないように、また外観や液晶パネルが傷がつかないようにしてください。
- 殺虫剤、芳香剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 長期間使用しないとき機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用してください。

※液晶、タッチパネルの破損は補償対象外となりますのであらかじめご了承ください。

## 置き場所について

- 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など温度が高くなる場所に置かないでください。変形、変色、故障や発火の原因となります。しばらくお使いにならない場合は、取り外して日のあたらない場所に保管してください。
- 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

## お手入れについて

- 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤は絶対使用しないでください。割れたり変色したり塗装ががれの原因となります。
- 液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

## メモリーカード（microSDカード）について

- メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの保障、およびこれらに関わるその他の直接または間接の損害につきましても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 抜き差しする場合には、メモリーカードの端子（金属部）には触れないでください。
- メモリーカードの取扱いかたについては、各メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。
- 通常のご使用でデータが破損（消滅）することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破損（消滅）することがあります。記録されたデータの破損（消滅）については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メモリーカードを本機に差し込むときは、上下（表裏）の向きに注意して、最後までしっかりと差し込んでください。

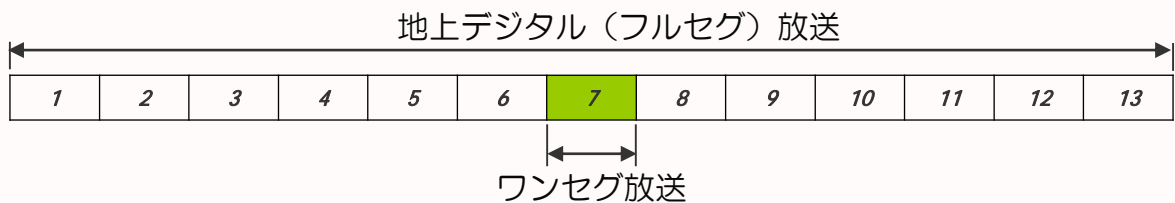
- メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
- 高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
- メモリーカードの金属部(金色の部分)にゴミや異物がつかないように、また手で触れないように注意してください。
- メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには静電気防止ケースに入れてください。
- 直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると破損、故障の原因になることがあります。
- ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。破損、故障の原因となります。
- 本機から取り出したメモリーカードが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお求めください。

## テレビ受信について

- ご購入後、はじめてテレビをお使いになる場合必ずスキャン操作をしてください。  
スキャンは使用する地域で受信可能な放送局を記憶させる操作で、テレビを視聴するために必ず行なう設定です。
- スキャン操作ははじめて使用する時以外にも移動や引っ越し等で受信可能な放送局が変わる場合や、ご使用の地域で新しい放送が開始された場合等にも再度設定する必要があります。
- 本製品のテレビ機能は日本国内の地上デジタル放送を受信するためのものです。海外ではご使用になれません。
- 建物の陰や窓際から遠い室内や地下等では電波が届かないため放送を受信することができません。また、屋外でも電波が弱い場所では受信できない場合があります。

### <<ワンセグとは>>

「ワンセグ」は地上デジタル放送のひとつで、移動中でも受信できるサービスです。地上デジタル放送は1チャンネルの帯域幅内で13個のセグメントに分割し使用しています。そのうち一つのセグメントを利用して放送していることから「ワンセグ」と呼んでいます。詳しくは社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）のホームページ（<http://www.dpa.or.jp/>）をご覧ください。  
放送エリアのめやすは（<http://dpa-tv-area.jp/>）にてご確認いただけます。



フルセグに比べ、ワンセグはデータが軽いため弱い電波でも受信が可能で高速移動中でも広範囲で受信が可能です。

### ワンセグについての注意

放送エリア以外の地域では視聴できません。必ずご使用する地域で放送局のスキャンをして受信できる放送局を設定してください。  
放送エリア内でも、周囲の地形や建物などにより電波が届かない場所やトンネル、建物内などでは受信できないことがありますのであらかじめご了承ください。  
受信状況が最も良くなるようにアンテナの設定を調整してください。

## <<TVの設定>>

本製品をはじめてご使用になる前に、下記の方法で地上波デジタルワンセグ放送を受信するためのチャンネル設定を行って下さい。使用する地域で受信可能な放送局を自動的に選局して記憶いたします。(スキャン操作) 移動したときや引っ越しなどで受信地域が変わった際にも再度設定してください。スキャンを行う時は受信状況の良いアンテナ設定後行ってください。

### チャンネル設定 (スキャン操作)

※アンテナの向きは受信の良い位置に調整してください。

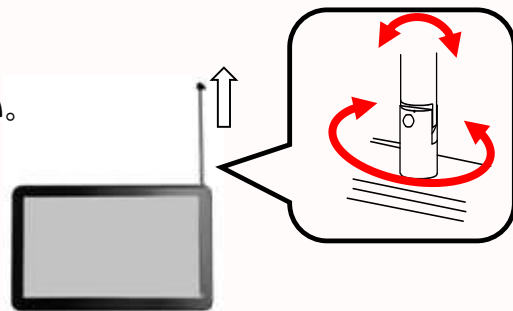
#### ①アンテナの準備

本体の右上についているアンテナを引き延ばしてください。

※アンテナの向きは受信良い位置に調整してください。

#### <注意>

※無理にアンテナを動かしますと曲がったり折れたりします。



①アンテナを引き延ばす

#### ②チャンネル設定 (スキャン操作)

(1) 「メインメニュー」の「テレビ」アイコンをタッチします。

(2) 安全のための警告の内容を確認しましたら「確認」をタッチし、ワンセグTVの操作画面を

表示させます。

(3) ワンセグTVの操作画面の「設定」 ボタンをタッチします。

(4) 地域ボタンを「A11」または現在の地域～都道府県の順にタッチします。

(5) 「スキャン」ボタンを押し、お近くの受信可能な放送局を選局します。スキャン後、探し出した受信可能な放送局を抽出します。

(6) 「適用」を押し受信可能な放送局を記憶させます。

(7) チャンネルリストからお好みのチャンネルを選び視聴してください。

また、チャンネル「+、-」ボタンで選局もできます。

②-(1) 「テレビ」をタッチ

②-(2) 「確認」をタッチ

②-(3) 「設定  」をタッチ



②-(5) 「スキャン」をタッチ



②-(6) 「適用」をタッチ



チャンネル  
設定完了

「ALL」又はお住まいの「地域」をお選んで「スキャン」をタッチする。  
※放送局がうまく取れない場合は、ALLを選んでスキャンしてください。

スキャンが終わると  
「スキャン完了」  
が表示

# 4 商品構成

本機を使用する前に、本体および付属品の確認を行ってください。 ※イラスト、画像が実物と異なる場合があります。

## ① 本体



## ② 車載用DCアダプター

(ナビゲーション、DVDプレーヤー兼用)



## ③ 車載用吸盤スタンド



## ④ 取扱い説明書

(本体操作説明書/ナビゲーション操作説明書)



## ⑤ 吸盤ベース板



## ⑥ ポータブルDVDプレーヤー



## ⑦ AVケーブル

(付属ポータブルDVDプレーヤー専用)

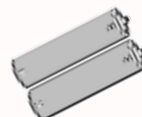


## ⑧ リモコン

(付属ポータブルDVDプレーヤー専用)



## ⑨ 単4形乾電池 (リモコン用)



## ⑩ 滑り止めシート

本製品の緩衝用包装材としてクッションシートを付属しています。

このシートは、滑り止めシートとしてお使いいただけます。

### <ご注意>

炎天下や火のそばなどの60℃以上になる高温の場所では長時間放置したりしないでください。

はり付きや色移りになることがあります。

ご使用後は、取り外して日陰など60℃以下のところで保管してください。



滑り止めシート

※イラスト、画像が実物と異なる場合があります。

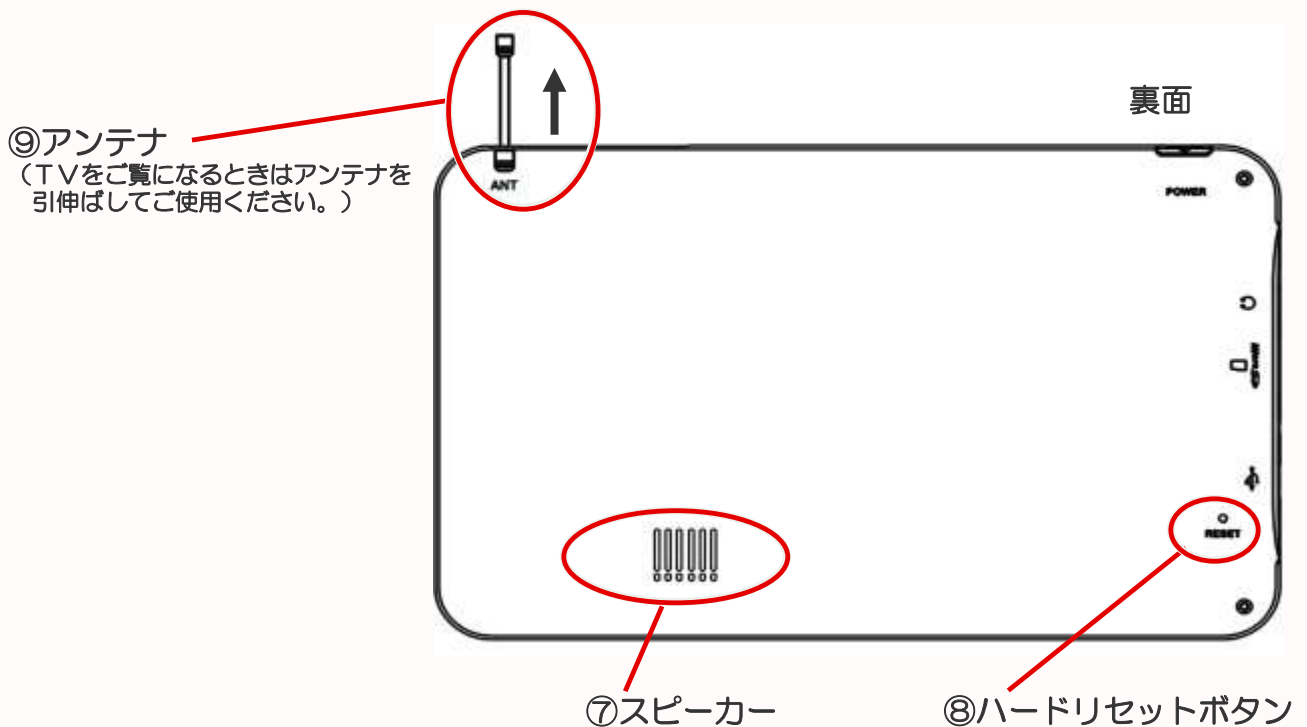
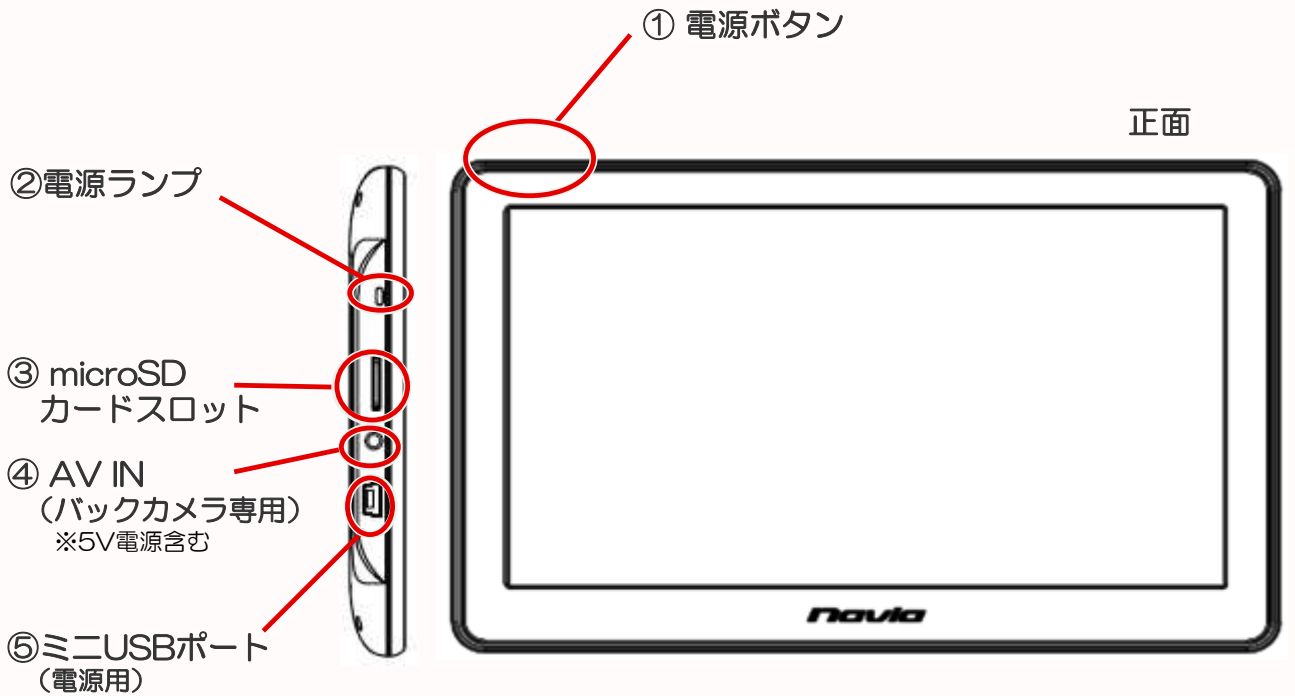
# 5 各部の名称

電源ランプについて

充電中：赤点灯

充電完了：消灯

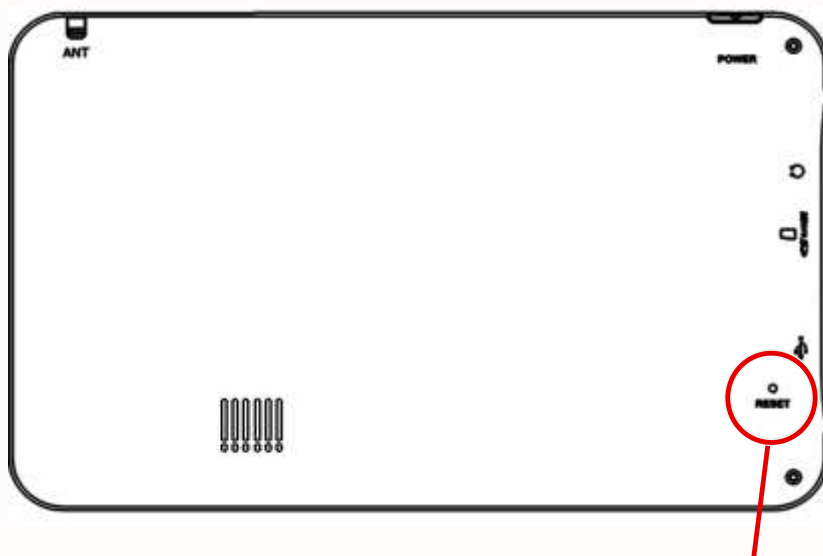
バッテリー駆動時：緑点灯



# 6 リセット機能

## 【ハードリセット】

本機になんらかの障害が発生しハードリセットを行う場合は、スタイラスペン等でハードリセットボタンを軽く押し、ハードリセットを行ってください。

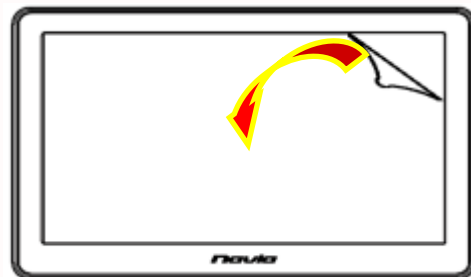


ハードリセットボタン

※メニュー操作中や地図表示中になんらかの原因で画面がフリーズしてしまった場合は、上記のハードウェアリセットボタンをスタイラスペン等で押してリセットを行ってください。

## パネルの保護フィルムについて

本機種は出荷時に液晶パネル面に製造時および輸送時のキズ防止のために、保護フィルムが貼られています。  
**ご使用になる際は、剥がしてお使いください。**  
貼ったままにしていると、画面上に縞模様がでたり、タッチパネルのタッチスイッチの動作不良になることがあります。



保護フィルムをはがす。



# 7 車への取付け

## 前方視界基準について

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準に従って、運転中に前方の視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付けてください。

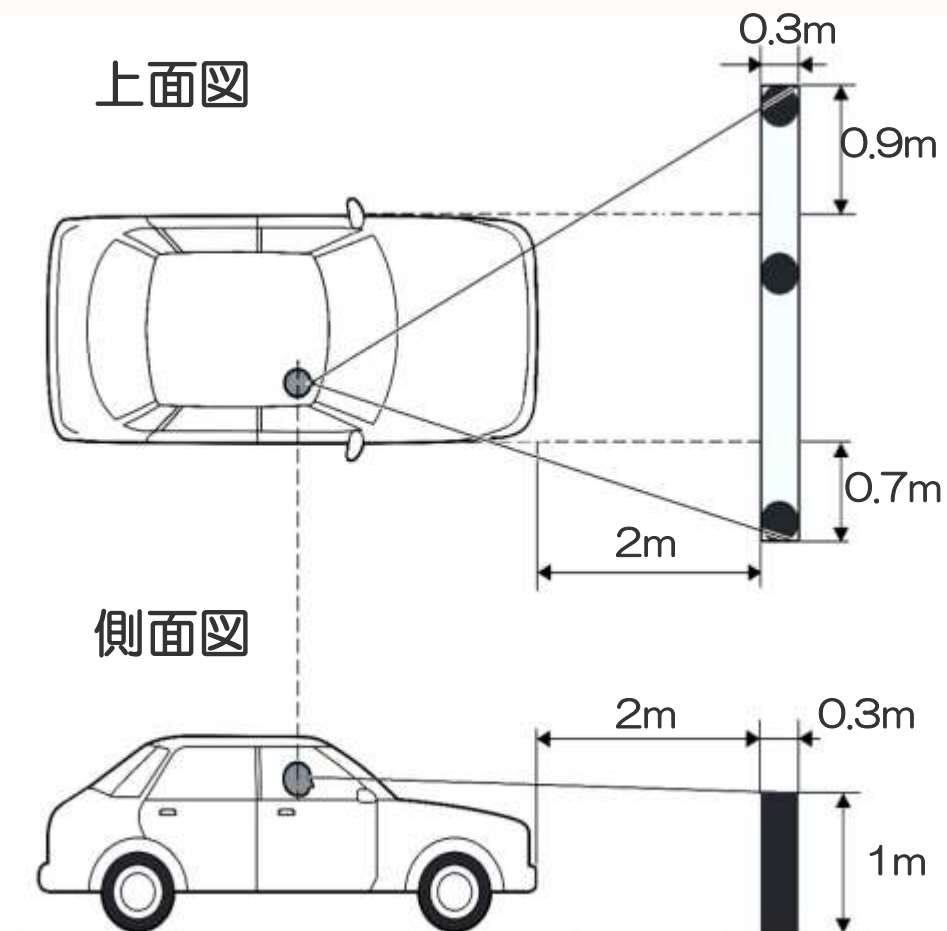
### 前方視界基準

#### ●対象車両

専ら乗用の用に供する自動車（乗車定員11人以上のものを除く。）  
車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

#### ●基準概要

自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱（6歳児を模したもの）を鏡等を用いず直接視認できること。



※図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右が逆になります。

## 取付けについてのご注意

- 付属のスタンドを使用してください。
- エアーバックカバー部及び作動時の妨げになる場所には取付けないでください。  
(取付けについては安全を考慮して、ディーラーや販売店にご相談ください。)
- フロントガラスには取付けないでください。
- スタンドを取り付ける際は、凹凸の無い平らな面をお選びください。
- 柔らかい材質、布製、革製の面には取付けできません。
- 下記のような場所には取り付けないでください。  
※スタンドが落下するおそれがあります。

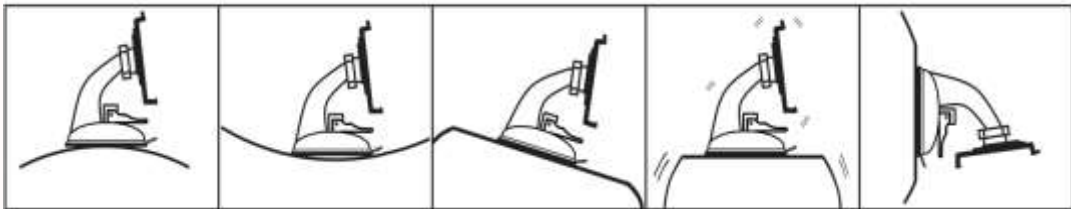
・密着しない曲面  
例)凸面

・密着しない曲面  
例)凹面

・傾いた面

・不安定な面

・垂直な面



- ダッシュボード上に吸着ベース板を貼る際は、**前方視界を十分に確保**でき安全基準を満足できる位置を決定後貼り付けてください。
- 吸着ベース板を貼り付ける前にワンセグTV用アンテナを伸ばしフロントガラス等にあたらぬことを確認してください。
- 吸着ベース板を貼付け位置が決定したら、貼付け面のほこりや油分などを十分にふき取ってから貼り付けてください。
- 市販の両面テープ前処理剤等を使用するとききれいにふき取れます。  
使用される場合は説明書をよくお読みになり、貼付け面にはがれ、変形、割れ等の不具合の無いこと確認の上、取説に従ってご利用ください。
- 両面粘着テープの貼付けは一回のみです。**貼り直しはしないでください。**  
(貼付け強度が極端に落ち、落下の恐れがあります。)
- 両面粘着テープは貼付け直後は接着強度が弱いため、24時間以上おいてから製品を取り付けてください。
- 両面粘着テープを剥がすときは、強力な粘着テープを使用しているため、貼付け面を傷めたり、破れたりすることがあります。
- ご使用になるまえに、吸盤、ロック、粘着テープ等が**確実に取付いていることを確認**してからご使用ください。
- **直射日光の当たる高温になる場所に長時間放置しないでください。**  
発火、変形、劣化による落下の原因になることがあります。

### 《注意》

ダッシュボードの上など直射日光の当たる高温になる場所でご使用になる場合  
ご使用にならないときは外して高温にならないところで保管してください。  
また、長時間車から離れる場合は本体をホルダーから外し保管してください。  
落下による故障の原因になる場合があります。

## スタンドの取付け方法

※形状、イラストは実物と異なることがあります。

運転中に前方の視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付位置を決めます。

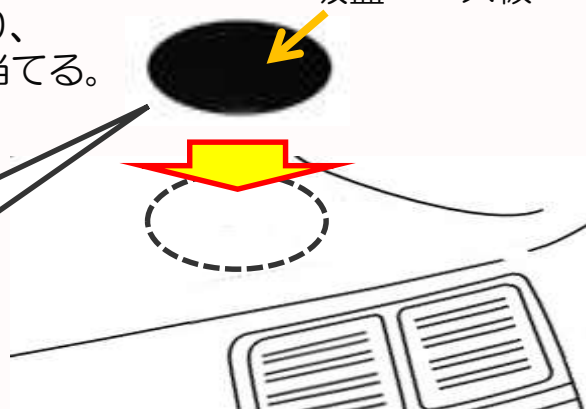
### ①吸盤ベース板の貼付け

貼付面のほこりや油分などをきれいにふき取り、両面テープの台紙をはがし取付面に強く押し当てる。  
(貼付け後は24時間以上置いてください。)

裏面のシールを剥がす



吸盤ベース板



### ②スタンドの組立て

- デバイスホルダーの4個の穴にスタンドのフック部を入れる。
- スタンドのフック部にカチッとロックするように、デバイスホルダーを矢印の方向に両手でスライドさせる。

※デバイスホルダーは強度上ロックを強くしています。スライドさせる際は強めに押してください。

※デバイスホルダーとスタンドが組立てて納入されている場合は、フック部がしっかりロックされていることを確認下さい。

※デバイスホルダーをスタンドから外してお使いの際は、逆方向に両手でスライドさせてはずしてください。

ホルダーの穴をスタンドのフックに合わせる。



デバイスホルダーを矢印の方向にスライドさせる。



スタンドのフック部



### ③スタンドの固定

吸着ベースの表面をきれいにふき取りスタンドを置き、レバーを倒して固定する。

※形状、イラストは実物と異なる  
ことがあります。

#### ④製品の固定

スタンドの下のツメに合わせ製品本体をカチッとロックする。  
(上のツメがカチッとロックしたことを確認してください。)



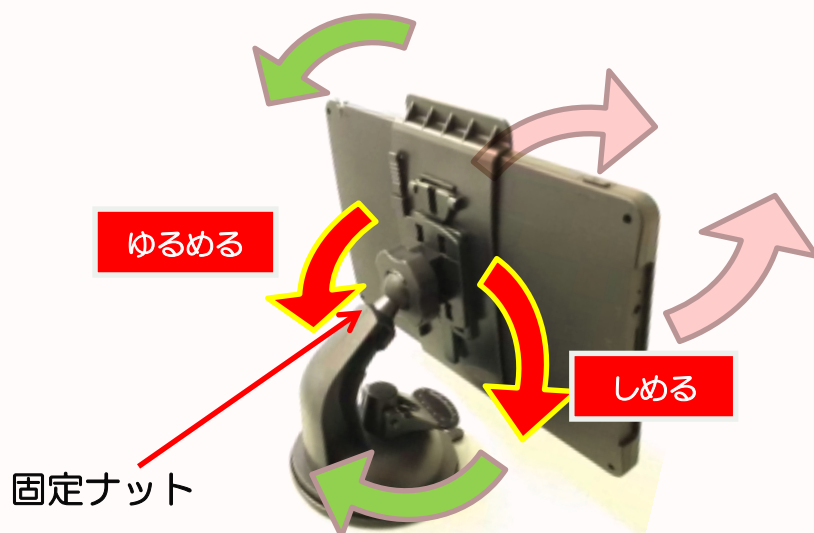
下のツメ部を合わせ上をロックする



※上のツメを親指で、はさむように強く押してください。  
液晶パネル面には触れないようにしてください。

#### ⑤角度調整

固定ナットをゆるめ、  
お好みの角度に調整して  
固定ナットをしめる。



### 《 注意 》

運転前に必ず、吸盤、固定ナット、粘着テープ、ロック  
が確実に取付いているか確認の上ご使用ください。

※万が一、落下等による液晶、タッチパネルの破損がございましたも、  
補償対象外となりますのであらかじめご了承願ください。

## 電源配線の方法

※形状、イラストは実物と異なることがあります。

ナビ及びDVDプレーヤーは下記手順で接続してください。

### 注意！

- 本DVDプレーヤーは専用機です。他の機器でご使用できません。
- このAV INに付属のDVDプレーヤー以外接続しないでください。

### ①AVケーブルを接続する。

DVDプレーヤーのAV OUTに、ナビゲーションのAV INにさす。

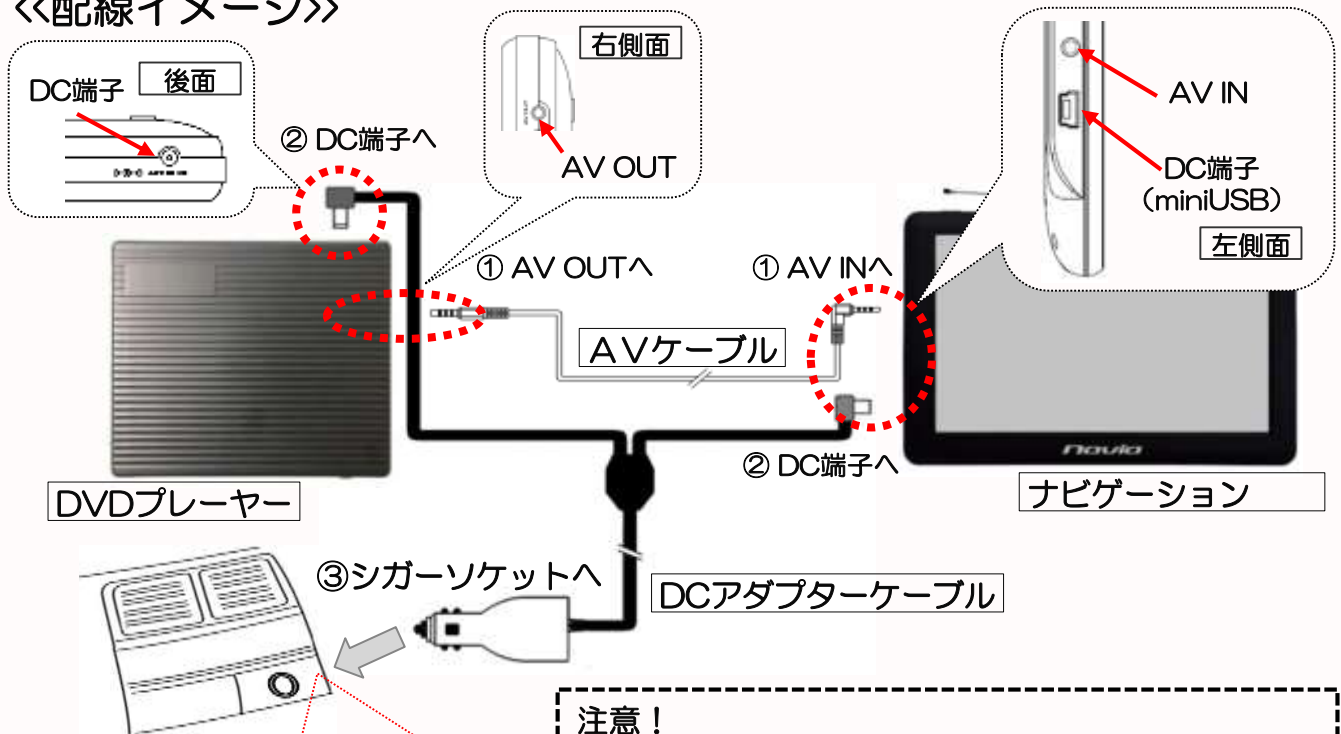
### ②DCアダプターをナビ本体とDVDプレーヤーに接続する。

DC電源アダプターからナビゲーションとDVDプレーヤー両方の端子につないでください。

### ③DCアダプターを車両のシガーソケットに接続する。

ACC ONにしてナビを立上げ、DVDプレーヤーの電源スイッチをONにしてナビの液晶画面にDVDが映ることを確認してください。

### ＜＜配線イメージ＞＞



根元からの  
折曲げ禁止

×

○

### 注意！

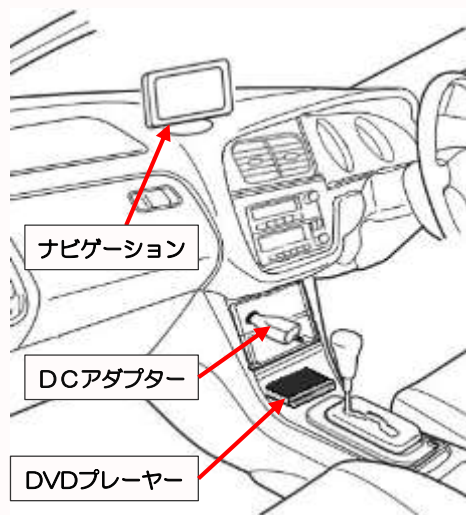
- ※配線する場合は、アダプターの根元から折曲げないようにしてください。  
(プラグにストレスがかからないこと)
- 断線、発火の原因になることがあります。
- ※シガーソケットの中に異物がないことを確認してから挿入してください。
- ※DCアダプターは真直ぐに奥までしっかりさしてください。
- ※配線は運転に支障の無い様に配線してください。

## 設置について

ナビゲーション、DVDプレーヤーの設置については、運転操作に支障のないように設置、配線してください。

### <設置例1>

ナビゲーションをダッシュボードの上、DVDプレーヤーをセンターコンソールのスペース等に設置した場合

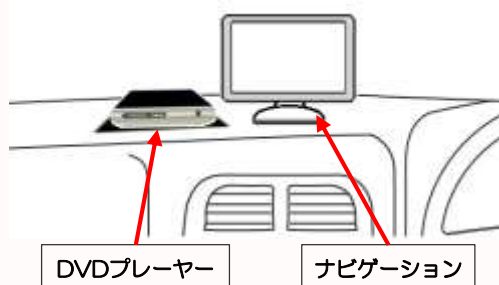


ナビゲーションをダッシュボードの上に置き、DVDプレーヤーをセンターコンソールのスペース等に設置した場合、

- ・配線は運転の妨げになったり、搭乗者の邪魔にならないように配線固定してください。
- ・設置したDVDプレーヤーがシフトレバーやサイドブレーキ操作の妨げにならないように配置してください。
- ・水平で安定した場所に設置してください。
- ・リモコン受光部は手前に向けるようにしてください。

### <設置例2>

ナビゲーションおよびDVDプレーヤーをダッシュボードの上に設置した場合



ナビゲーションおよびDVDプレーヤーをダッシュボードの上に設置した場合、

- ・配線は運転の妨げになったり、搭乗者の邪魔にならないように配線固定してください。
- ・リモコン受光部は手前に向けるようにしてください。
- ・長時間、ダッシュボードの上に置きっぱなしにしないでください。

※車から離れる際は、直射日光の当たらない場所に保管してください。

- ・走行中は、急なブレーキや衝撃で落下により故障したり、けがをしたりする場合があります。安全な場所に停車してご覧ください。

### <注意！>

- ・運転中は、画面を直視したり操作したりしないでください。事故の原因になります。
- ・安全な場所に停車して、ご覧になるようおすすめします。

# 8 本体電源の取扱方法

電源のON/OFFの操作方法についてご案内いたします。

## 1. 車載用DCアダプターの使い方

本機は、お車のシガーソケット（DC12Vまたは24V）より付属アダプターを使用して、本体に5Vを供給し駆動します。

## 2. イグニッションキー連動電源ON/OFF機能について

本機は、電源の連動ON/OFF機能（オートスタート機能）を搭載しています。お車のシガーソケットに接続した場合、イグニッションキーのON/OFFで本体の電源も自動的にON/OFFができていへん便利です。

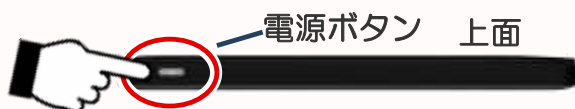
※シガーソケットの電源ON/OFFがイグニッションキーに連動しているお車に限ります。

※アイドルストップ車の場合、エンジン再始動時に電源がオフする場合がございます。

## 3. 電源の入れかた／切りかた

### <電源を入れるとき>

- ①電源ボタンを長押しする。  
（約3秒間押し続ける。）
- ②起動画面が表示されます。
- ③しばらくすると  
設定メニューが表示されます。



### <電源を切るとき>

- ①電源ボタンを長押しする。  
（約3秒間押し続ける。）
- ②終了画面が表示され、  
約5秒後に自動的に切れます。
  - ・「電源オフ」を押すとすぐに電源が切れます。
  - ・「スタンバイ」を押すとスタンバイモードになり  
再度電源を入れるとき早く立ち上がります。
  - ・「キャンセル」を押すと元の画面に戻します。



※ナビ使用時に電源ボタンを短押しした場合、メニュー画面に戻りますが、他のモードに切り替える場合はナビを終了してから切り替えてください。

※ナビゲーション終了時の終了モード動作について  
エンジンオフするとナビゲーションは終了モードに入り  
その後オフします。

終了モード中に再度エンジンをオンした場合、ナビゲーション  
はオフ、DVDはオンになる場合があります。

その際は、ナビゲーションの電源をオンしてください。

## 4. 充電のしかた

- ① 車載用DCアダプターを接続します。（充電中は電源ランプが赤点灯）
- ② 電源ボタンOFFにして充電を開始します。
- ③ 電源ランプが消えれば充電完了です。（フル充電時間約4時間）  
※ご使用環境により変動します。

※充電残量が0になった場合、アダプターをつないでも電源が立ち上がらない場合があります。その際は電源OFF状態で、充電を十分におこなってから電源をいれてください。



# 9 ワンセグTV

## 9-1 チャンネル設定（スキャン操作）

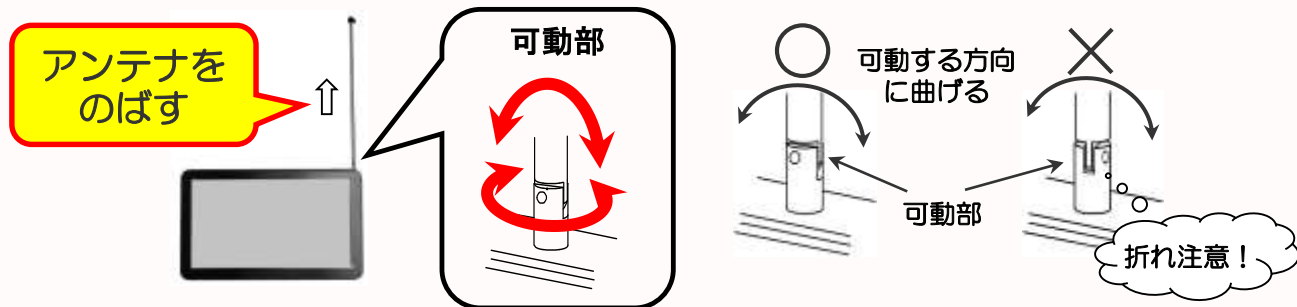
はじめてテレビをご覧になる前に、下記の方法でチャンネル設定を必ず行ってください。

①見晴らしの良く受信環境の良いところでアンテナをのばす。

アンテナは上部右側に収納されています。

引き出すときは、まっすぐにゆっくりと可動部が出るまで引き出して下さい。

しまうときも同様にまっすぐにゆっくりと押しこんで下さい。



※アンテナの回転方向を確認の上、向きをかえてください。

### <注意>

※無理にアンテナを動かしますと曲がったり折れたりします。

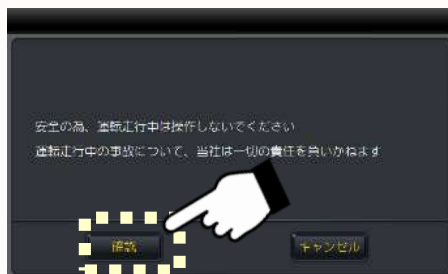
②「テレビ」をタッチ

メニュー画面から「テレビ」をタッチする。



③「確認」をタッチ

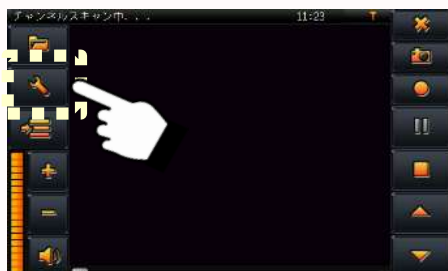
警告文が表示されますので内容を理解して、「確認」をタッチする。



④  をタッチ

お近くの受信可能な放送局を設定するためにスキャン操作を行います。

設定後は、地域が変わらなければこの操作は必要ありません。



## ⑤ 「地域」を選択

ご使用される地域を選択します。

(選択せずにスキャンもできますが、地域を選択するとスキャン時間が短くなります。)

※放送協がうまく取れない場合は、「ALL」を選んでスキャンしてください。

### ⑤-1 「地域」をタッチ



### ⑤-2 地域を選ぶ (例 関東をタッチ)



### ⑤-3 都道府県を選ぶ (例 東京をタッチ)



### ⑤-4 ご地域にある放送局を表示



※スキャン操作後に、実際に受信可能な放送局を表示されます。  
(この時点では受信できない放送局も含まれる場合があります)

## ⑥ 「スキャン」操作

スキャン操作をすることにより、実際に受信可能な放送局をさがし設定します。

※スキャン操作をするときは必ず受信環境のよいところでおこなってください。

受信環境が悪いところでスキャンを行いますと放送局が設定されない場合があります。

### ⑥-1 「スキャン」をタッチ

受信可能な放送局を検索開始します。



### ⑥-2 「適用」をタッチ

スキャン完了後、適用を押すことにより放送局の設定ができます。



チャンネル  
設定完了

スキャンが終わると  
「スキャン完了」  
が表示

お車等で長距離移動の場合、放送局のエリアが変わる為受信できなくなることがあります。その際は、再度新しい地域での再スキャン、もしくはALLで再スキャンをおこなってください。

# 9-2 ワンセグTVをみる

## ①チャンネルをかえる

チャンネル変更矢印（▲、▼）をタッチしてお好みのチャンネルに変更します。



- ▲：チャンネル（-）
- ▼：チャンネル（+）



## ②音量を調節する


・音量変更矢印（+、-）をタッチしてお好みの音量に調整します。

- +：音量を上げる
- ：音量を下げる

・  ボタンをタッチすると消音  になります。（音はでません。）



# 9-3 ワンセグTVの各種設定

「  」をタッチすると、各種設定を変更できます。

## <設定内容>

チャンネル：スキャン済みの放送局表示

基本設定：言語／音声チャンネル構成／音声スイッチ／字幕

ビデオ：画面のアスペクト比（画面の縦横比）の設定

情報：バージョン情報



# 9-3-1 設定「チャンネル」

「チャンネル」をタッチすると、受信放送局が表示されます。

放送局を設定する際は、『9-1. チャンネル設定（スキャン操作）』（18ページ）参照願います。



# 9-3-2 設定「基本設定」

「基本設定」をタッチすると、言語／音声チャンネル構成／音声スイッチ／字幕 の設定ができます。

## 設定の仕方

- ①設定項目の「▼」をタッチします。
- ②現れた選択項目から項目を選びタッチします。
- ③項目が切り替わりします。
- ④選択後、「適用」をタッチします。

## ＜＜言語＞＞

設定画面の言語の切替ができます。

日本語 ⇄ English

- 日本語：設定画面が日本語で表示されます。
- English：設定画面が英語で表示されます。

## ＜＜音声チャンネル構成＞＞

番組プログラムに音声チャンネルがある場合のみ、切換えが可能です。

主音声 ⇄ 副音声 ⇄ 二重音声

## ＜＜音声スイッチ＞＞

放送中の番組プログラムに音声スイッチがある場合のみ、表示が出て切換えが可能です。

オーディオ1 ⇄ オーディオ2

※放送番組により、「音声スイッチ」または「音声チャンネル構成」を変えることにより二ヶ国語、副音声、ステレオ音声（ステレオイヤホン使用時）をご利用できます。番組により音声切替方法が違いますので実際に確認の上おたのしみください。

チャンネル変更する時は、オーディオ1に戻してから切換えてください。  
(電源OFF→ONやテレビ以外の設定に切換えた場合は自動的にオーディオ1に戻ります。)

## ＜＜字幕＞＞

字幕放送のときに字幕を表示します。

無効 ⇄ 日本語

- 無効：字幕放送時の字幕は画面に表示されません。
- 日本語：字幕放送時の字幕は表示されます。



「▼」をタッチして  
選択項目を表示する

## 9-3-3 設定「ビデオ」

「ビデオ」をタッチすると、画面のアスペクト比の設定ができます。

### 《アスペクト比》

画面サイズの調整ができます。

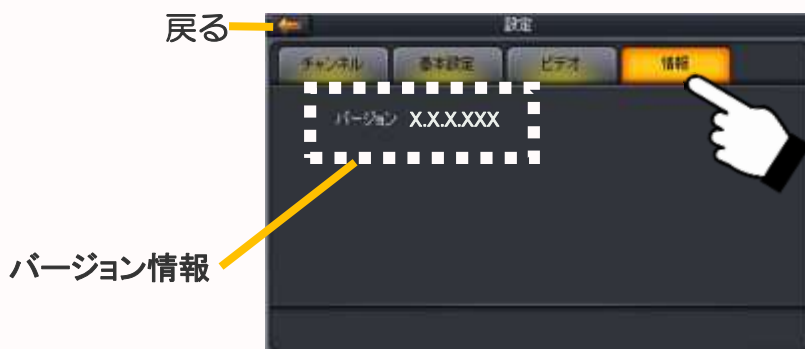
画面サイズ調整 ⇔ レターボックス

- 画面サイズ調整：レターボックス画像の上下の黒枠をなくした画像（上下をのばした画像）
- レターボックス：横長の画面を上下に黒枠が出た状態で表示されます。



## 9-3-4 設定「情報」



「情報」をタッチすると、バージョン情報が表示されます。



# 9-4 ワンセグTV (EPG番組表)

## EPG (電子番組表) をみる


EPG (電子番組表) でその日の番組内容を確認できます。

- ① EPG (電子番組表)  をタッチします。
- ② 左の番組の中から詳細を知りたい番組の  をタッチすると、番組情報が表示されます。
- ③ 右の番組予定表をタッチするとその番組の情報が表示されます。



## お好みチャンネル

普段よく見るチャンネルを「お好みチャンネル」(♡)に集めお楽しみいただけます。

- ① 「EPG (電子番組表) 」をタッチします。
- ② 右のチャンネルリストからお好みの放送局の右の「☆」をタッチすると「★」に変わり表示されます。
- ③ 「♡」ボタンをタッチすると、お好みのチャンネルのみ表記されます。



# 9-5 ワンセグTV（録画／再生）

※機種によりボタンのレイアウトが違う場合があります。

ワンセグTVを見ながらmicroSDカードに動画、静止画を撮ることができます。

## ワンセグTVを録画／再生する

ご覧になっているテレビ番組を、micro SDカードに録画してお楽しみいただくことができます。

- ① 空のmicroSDカードをいれる。
- ② 録画したい時に「 ● 」をタッチすると録画が開始します。
- ③ 終了するときは「 ■ 」をタッチします。
- ④ 再生するときは、「 📁 」をタッチし、録画したデータを選び「OK」をタッチする。（放送局名、録画日時がファイル名になります）

※設定の「メディア」の中の「動画」で再生はできません。  
「テレビ」の「 📁 」からご覧ください。



## ワンセグTVを静止画／再生する

ご覧になっているテレビ番組の静止画を、micro SDカードに撮ることができます。

- ① 空のmicro SDカードをいれる。
- ② 静止画を撮りたい時に「 📷 」をタッチする。

撮りたい画面のときに「 📷 」をタッチする

- ③ 再生するときは、「メディア」⇒「写真」⇒SDMMC⇒Recorder⇒Snapshotをタッチし、録画したデータを選び「OK」をタッチする。（放送局名、録画日時がファイル名になります）



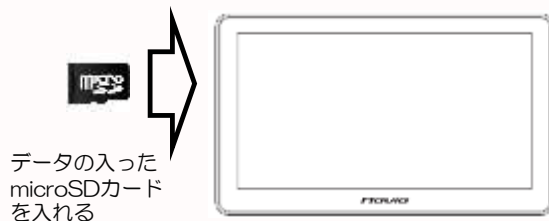
※「テレビ」の「 📁 」の中からは再生はできません。  
「メディア」の「写真」からご覧ください。

# 10 メディア（動画、音楽、写真）

本メディア機能ではパソコンなどからmicroSDカードにいった動画、音楽、写真をお楽しみいただけます。

## ①音楽などの入ったmicroSDカードをいれる。

パソコンなどからお好みの動画、音楽、写真のデータを入れたmicroSDカードを側面に入れる。



## ②「メディア」機能にする

メインメニューから「メディア」アイコンをタッチしてお好みの動画、音楽、写真 お選びください。



メディアメニュー（選択画面）

## ③お好みのメディア内のソースを再生する。

下記のボタン操作に従ってお楽しみください。

動画の場合

	前の画面に戻る。		ビデオファイルリスト画面に戻る。
	一時停止/再生を切り替える。		次の動画に進む。
	再生画面を閉じる。		再生画面を閉じる。

音楽の場合

	前の画面に戻る。		音楽ファイル一覧画面に戻る。
	メディアメニュー画面に戻る。		次の曲に進む。
	一時停止/再生を切り替える。		再生を中止する。
	再生画面を閉じる。		再生画面を閉じる。

写真の場合

	前の画面に戻る。		フォトファイルリスト画面に戻る。
	画面を拡大する。		画面を縮小する。
	一つ前の写真に戻る。		次の写真に進む。
	画面を90°回転する。		写真機能を全画面にする。 (ダブルタッチで元画面に戻る)
	スクリーンショットをする。 (約5秒経過に写真が撮れます)		

※動画再生中に画面中央を2回タッチすると画面が大きくなります。再度2回タッチすると元のサイズに戻ります。

動画、音楽、写真の再生可能な条件は下表のとおりです。

	再生可能データ フォーマット	ビットレート	解像度	フレームレート
音楽	MP3	320kbps	/	/
	WMA	64kbps	/	/
動画	MPG	1500kbps	320x240 以下	25fps
	AVI	1500kbps	480x272 以下	30fps
	WMV	1500kbps	480x272 以下	30fps
	ASF	285kbps	320x240 以下	25fps
写真	JPG、BMP	/	2560x1600 以下	/

※上記の条件であってもカードによっては、再生できない場合がございます。その際は、カードを変えてご使用ください。



# 10-1 動画

パソコンなどからmicroSDカードに入れた動画(ビデオ)をお楽しみいただけます。

## 動画 を選ぶ

※動画の入ったmicroSDカードが入っていることを確認してください。

- ① メディアメニューから「動画」アイコンをタッチします。
- ② 「SDMMC」をタッチします。  
(さらにホルダーがあるときは選び、動画を表示してください。)
- ③ お好みの動画を選んでタッチすると音楽が始まります。

メディアメニュー (選択画面)



「動画」をタッチ



「SDMMC」をタッチ



見たい「動画」を  
タッチ

## 動画 をみる

操作画面で 動画 の再生の操作を行います。

	前の画面に戻る。		「動画ファイル一覧」画面に戻る。
	一時停止/再生を切替える。		次の動画に進む。
	丸い音量調整ボタンの左右をタッチして音量を調整する。		丸い音明るさ調整ボタンの左右をタッチして音明るさを調整する。



※本機で再生出来る動画のサイズは標準画質 (SD) までです。高画質 (HD) には対応していません。  
※動画データによっては本機で再生出来ないものもあります。  
※microSDカードによっては、再生されないこともあります。

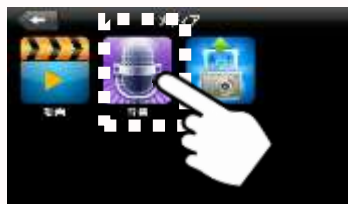
# 10-2 音楽

パソコンなどからmicroSDカードに入れた音楽をお楽しみいただけます。

## 音楽を選ぶ

※音楽の入ったmicroSDカードが入っていることを確認してください。

1. メディアメニューから「音楽」をタッチします。
  2. 「SDMMC」をタッチします。  
(さらにホルダーがあるときは選び、音楽を表示してください。)
  3. お好みの音楽を選んでタッチすると操作画面にかわり、音楽が始まります
- メディアメニュー（選択画面）



「音楽」をタッチ



「SDMMC」をタッチ



聞きたい「曲」をタッチ

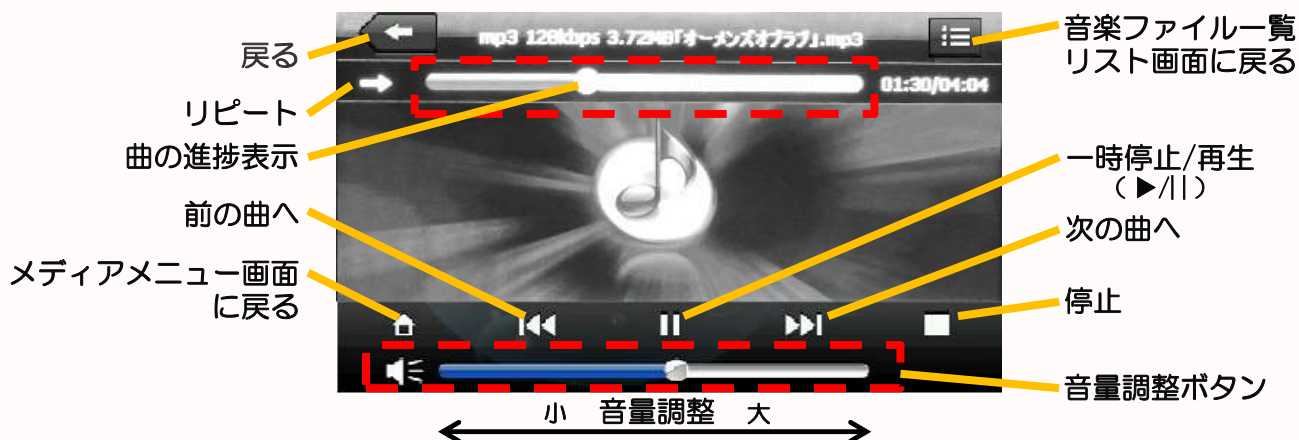
## 音楽を聴く

操作画面で曲の再生の操作を行います。

	前の画面に戻る。		「音楽ファイル一覧」画面に戻る。
	メディアメニュー画面に戻る。		丸い音量調整ボタンの左右をタッチして音量を調整する。
	前の曲に戻る。		次の曲に進む。
	一時停止／再生を切替える。		停止する。
	<ul style="list-style-type: none"> <li> リピート無 : リピート無で再生します。</li> <li> シングルリピート : 一曲のみ繰り返し再生します。</li> <li> フルリピート : 全曲繰り返し再生します。</li> <li> ランダムリピート : ランダムで再生します。</li> </ul>		

## 操作画面

※音楽データによっては本機で再生出来ないものもあります。  
※microSDカードによっては、再生されないこともあります。



<音楽を聴きながらナビ操作する場合>

音楽を再生し、 からメニュー画面⇒ナビを立ち上げると音楽再生したままナビ操作できます。

# 10-3 写真

パソコンなどからmicroSDカードに入れた「写真」をお楽しみいただけます。

## 写真を選ぶ

※写真の入ったmicroSDカードが入っていることを確認してください。

1. メディアメニューから「写真」をタッチします。
2. 「SDMMC」⇒「Photo」の順にタッチします。  
(さらにホルダーがあるときは選び、写真を表示してください。)
3. お好みの写真を選んでタッチすると写真画像が表示。

メディアメニュー（選択画面）



「写真」をタッチ



「SDMMC」をタッチ



見たい「写真」を  
タッチ

## 写真をみる

操作画面で 写真の画像操作を行います。

	前の画面に戻る。		「写真一覧」画面に戻る。
	画面を拡大する。		画面を縮小する。
	一つ前の写真に戻る。		次の写真に進む。
	画面を右に90° 回転する。		写真画像を全画面表示にする。 (ダブルタッチで元画面に戻る)
	スライドショーにする。 (約5秒起ぎに写真が変わります)		

戻る



写真一覧  
画面に戻る

拡大

縮小

右90° 回転

全画面表示

スライドショー

戻る

進む

# 11 設定





メインメニューから「設定」アイコンをタッチします。  
各メニューのアイコンをタッチして各種の設定ができます。



設定のメニュー画面

## 11-1 ボリューム設定

ボリューム設定で音量やタッチ音の調整ができます。

1. 「設定」内の「ボリューム」をタッチする。
2. ボリュームの「 」をタッチして音量を調節する。
3. スクリーンタッチ音の「 」をタッチしてタッチ音を調整する。  
( OFF / 小 / 大 )

1. 「ボリューム」をタッチ



設定のメニュー画面



2.3. 「 」で調整



ボリューム設定の画面

# 11-2 言語設定

設定メニューの言語を日本語／英語に切替えることができます。  
※ナビゲーションのメニューは日本語のみです。

1. 「設定」内の「言語」をタッチする。
2. 「 

1. 「言語」をタッチ



設定のメニュー画面

2. 言語を選ぶ



# 11-3 GPS 情報

「GPS情報」からGPSの受信状況が確認できます。

1. 「設定」内の「GPS情報」をタッチする。
2. GPSからの情報を確認することができます。

ナビゲーションとは、4個以上のGPS衛星からの電波を受信して現在地を測位し、地図上に目的地までの距離や時間や方向を表示して案内する機能です。  
GPS衛星の受信状況を確認するためにこの機能を使い、GPS衛星の情報を表示します。

## 《注意》

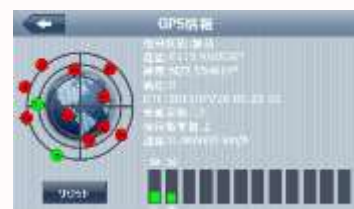
- ①GPSは、出来るだけ衛星から垂直に電波を受けやすいようにセットしてください。
- ②測位する場所は、衛星からの電波をさえぎるような高い建物や木々などがなく上空の視界が開けた、見晴らしの良いところで行ってください。
- ③初めて測位するときや前回測位した場所から300km以上離れている場合は、コールドスタートとなり数十分時間がかかる場合があります。  
(一度受信しましたらその後はウォームスタートとなり受信は速くなります)

1. 「GPS情報」をタッチ



設定のメニュー画面

2. 「



# 11-4 ファクトリーリセット 設定

設定を工場出荷時の状態に初期化します。

1. 「設定」内の「ファクトリーリセット」をタッチする。
2. 「はい」をタッチすると初期化します。

## 1. 「ファクトリーリセット」をタッチ



設定のメニュー画面

## 2. 「はい」をタッチ







※「ファクトリーリセット」をすると「ナビ設定」も初期化される場合がありますのでその場合は34ページの「ナビ設定」の方法にしたがって設定を行ってください。

# 11-5 バックライト 設定

バックライト設定で画面の明るさ、自動OFF設定ができます。

※自動OFF設定：設定時間後に画面が暗くなり、バッテリーの消耗を減らします。

バッテリー駆動時のみ動作します。

1. 「設定」内の「バックライト」をタッチする。
2. バックライトの「 」をタッチして明るさを調節する。
3. 自動OFF設定の「 」をタッチして自動で画面が暗くなるまでの時間を調整する。

(常にON / 10秒後にOFF / 20秒後にOFF / 30秒後にOFF / 1分後にOFF / 10分後にOFF)

## 1. 「バックライト」をタッチ



設定のメニュー画面

## 2.3. 「 」で調整



バックライトの画面

# 11-6 日付・時間 設定

日付、時間の設定メニューで西暦、日付、時間、時間および地域の設定ができます。

1. 「設定」内の「日付、時間」をタッチする。
2. 現在の西暦、付き、日、時間、分を「▲ ▼」のタッチで設定する。
3. 地域の「◀ ▶」をタッチして「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」に設定する。

1. 「日付、時間」をタッチ



設定のメニュー画面

2. 現在時刻に設定



日付、時間設定の画面

3. 地域を選択

※日付、時間に関しては、ナビのGPS受信により自動設定されます。

# 11-7 ナビ 設定

ナビゲーションを動作させるための設定です。

(この機能は通常は使用しません)

## ＜ナビ設定方法＞

1. 「ナビ設定」をタッチし、ナビゲーションパスの設定画面にする。
2. 「☰」をタッチし、その中のホルダー「ResidentFlash」「Navione」を順にタッチして「Navione.exe」が表示したことを確認して「OK」をタッチする。
3. 「◀」をタッチして元の画面に戻る。

1. 「ナビ設定」をタッチ



設定のメニュー画面



「ナビ設定」は工場出荷時に設定済みですが、初期化(33ページ「ファクトリーリセット設定」)を行うと、ナビ設定も初期化されることがあります。ナビが立ち上がらない場合は上記設定をしてください。

# 11-8 システム情報

本製品のシステムリソースの確認する機能です。

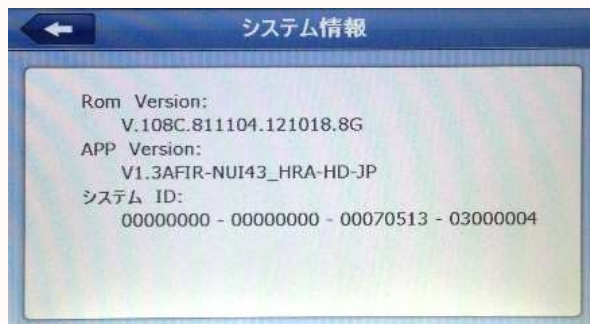
1. 「設定」内の「システム情報」をタッチする。
2. システム情報が表示されます。

※この機能は、製造上の管理に使用するための機能で、お客様のご使用には関係ございません。

## 1. 「システム情報」をタッチ



設定のメニュー画面(2ページ目)



システム情報



# 12 ポータブルDVDプレーヤー（付属）

付属のポータブルDVDプレーヤーについてご説明いたします。

**<注意！> 運転者は画面を直視しないでください。  
事故の原因になります。**

～運転者をご覧になる時は、安全な場所に車を止めてご利用ください。～

## ～ご使用上の注意～

- 本機は、日本専用機です。海外のディスク等は使用できません。
- このポータブルDVDプレーヤーは本カーナビゲーション専用機です。他の機器に接続しないでください。また、本ナビゲーションに他のDVDプレーヤーを接続しないでください。故障の原因になります。
- 直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所で長時間使用しないでください。使用後は、温度の高くない場所で保管してください。外装の変形、故障、火災の原因になります。
- 付属の専用コード以外は使用しないでください。故障や火災の原因となります。
- 接続しているコードの端子は定期的に乾いたきれいな布で拭いてください。端子にほこりがたまると火災の原因になります。
- 長期間使用しない場合は、DC電源アダプターのプラグを抜いてください。
- 液体で濡らしたり、ぬれた手で操作したりプラグを抜き差ししたりしないでください。火災や、感電の原因になります。
- 振動の大きな所や不安定な場所におかないでください。倒れたり落下したりしてけがや故障の原因になります。
- 内部に熱がこもってしまうような厚い布などをかぶせたりしないでください。直射日光をよける場合は、風通しをよくして内部に熱がこもらないようにしてください。火災や変形の原因になります。
- 異臭や煙が出た時はすぐに電源を切り、電源プラグを抜いて、販売店やサポートセンターへご連絡ください。
- ディスク用のピックアップに眼を近付いたりレーザー光を覗き込んだりしないでください。視力障害の原因になります。
- ディスクが回っているときはディスクに触れないでください。けがの原因となります。
- 運転をしながら操作をしないでください。交通事故の原因となります。
- ひざの上などで仕様する等、長時間肌に触れたりしないでください。低温やけどの原因になります。
- 本機をテレビやラジオ、ビデオ、その他電子機器の近くに置いて使用する場合、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合は上記電子機器から離してください。
- 本機は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店にご依頼ください。
- 本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行なうと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- 本機は、映像信号の読み取りのためにレーザーを使っています。弱いレーザー光のため、人体に大きな影響はありませんが、安全のため、絶対に製品を分解しないでください。

## 結露(露付き)について

結露(露付き)とは、よく冷えた飲料水をコップにそそぐとコップの表面に水滴が付く現象です。同じ現象として、製品内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

### ●結露に注意する

- 本機を寒いところから急に暖かいところに移動したとき
- 暖房開始した部屋やエアコンなどの冷風が直接あたる場所に置いたとき
- 夏季に冷房の部屋・車内などから急に温度、湿度の高い場所に移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

### ●結露がおきそうなときは、本機をすぐに停止する

結露がおきた状態で本機を使用すると、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源を入れておくと本機があたたまり水滴がとれますのでしばらく放置してからご使用ください。

## DVDやCD及び各種メディア再生について

- ピックアップのヘッド（ディスクを読み取るレンズ）には触れないでください。
- ディスクトレイにはDVD、CD以外の異物を挿入しないでください。  
また、USBスロットに異物を挿入しないでください。
- ディスクをセットする時は1枚だけを使用し、読み取り面を下にして中央のターンテーブルにカチッと音がするまで差し込んでください。
- CD-R、DVD-R及び各種メディアを使用する場合は、ファイルの種類または作成されるレコーダーやPC等の互換性やデータの保存方式によって再生できないものがあります。そのためすべてのメディアの再生は保証できません。
- 本機で再生する前に、必ず作成したレコーダーでファイナライズ処理をしてください。処理されていないディスクは再生できません。
- 大きいサイズのデータや大容量メディアについては読み込みが遅かったり認識できない場合があります。
- 本機で再生できるCPRMディスクはVRモードのみです。
- デジタル放送を録画したVRモード・CPRMのディスクは読み込みに時間がかかったり、記録状態によっては認識できない場合もあります。
- ディスクによってはラストメモリー機能やその他の機能が操作できない場合があります。
- USB端子に接続できるのはUSBメモリーストレージです。通信機器などPCで使用するデバイスには対応しておりません。

## DVDやCD及び各種メディア再生について

### ディスクの取り扱いについて

- ディスクを持つ時は、右図のように記録部分には触れず、ディスクの端を挟んでお取り扱いください。指紋、ホコリ、傷等によりディスクの読み込みができない場合があります。
- ディスクのラベル面にボールペン等で書き込まないでください。
- ディスクに紙やシールを貼らないでください。
- ディスクを曲げたり落としたりしないでください。
- ディスクについた指紋やほこりなどの汚れは、柔らかい布でディスクの中心から外周に向かって軽く拭きとってください。

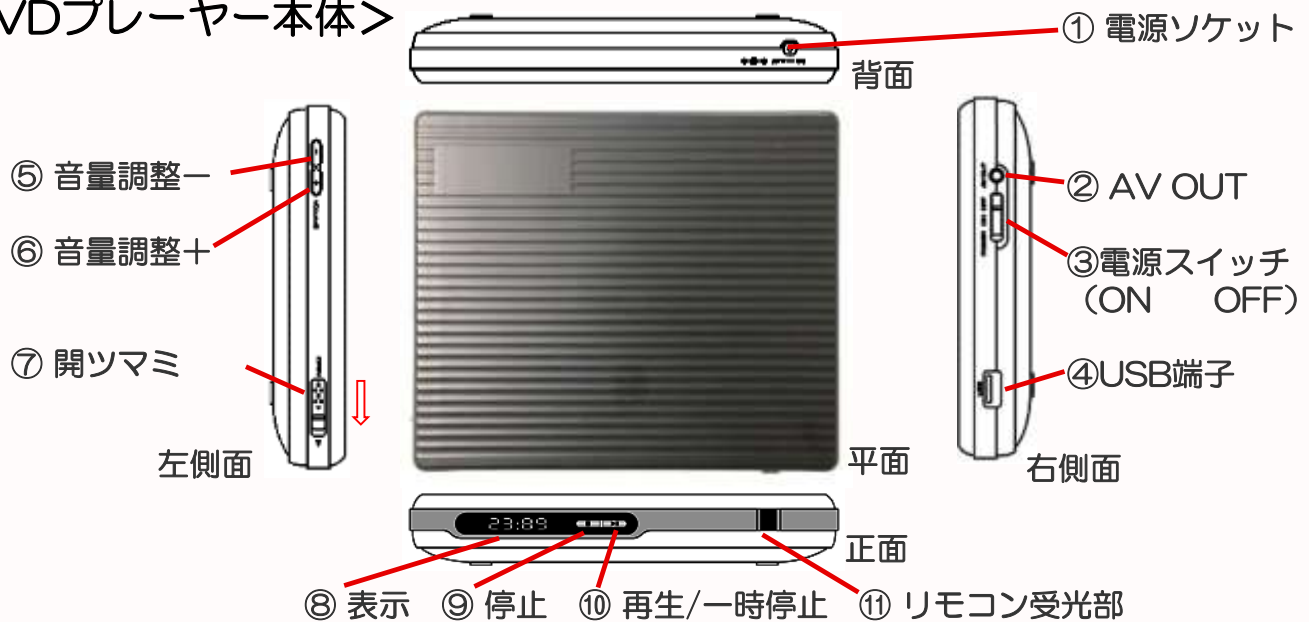


記録面



# 12-1 各部の名称

## <DVDプレーヤー本体>

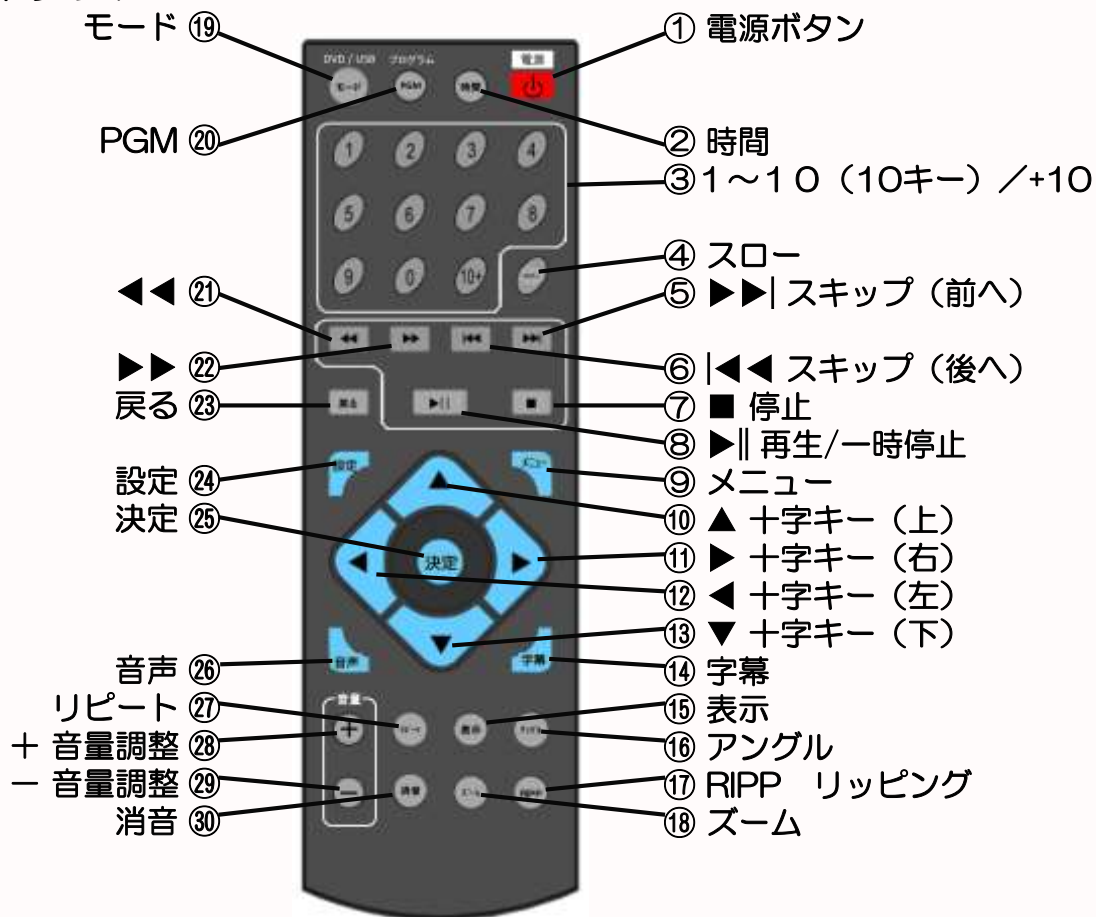


## <DVDプレーヤー本体名称と機能>

No.	名称	表示	機能
1	電源DC入力端子	DC 5V ⊖ ⊕	付属の電源アダプターを接続します。
2	AV OUT端子	AV OUT	AVケーブル用端子 (Φ3.5mm) (付属DVDプレーヤー専用)
3	電源スイッチ	POWER ON OFF	DVDプレーヤーの電源をON OFF 切替をします。
4	USB端子	USB	USBメモリー用スロット USBメモリーに入った音楽、動画等メディアを再生します。
5	音量調整-	VOLUME -	DVDプレーヤーの音量を下げます。
6	音量調整+	VOLUME +	DVDプレーヤーの音量を上げます。
7	開ツマミ	OPEN	▶方向にツマミをスライドさせると 蓋が開きます。
8	表示	12:34 (表示例)	残り時間を表示する。
9	停止	■	再生中のディスクを停止します。 再生中に一回押すと一時停止します。 二回押すとスタート位置に戻り停止します。
10	再生/一時停止	▶	ボタンを押すと、再生/一時停止の切替をします。 また、早送り、早戻しなどその他の再生状態時に 押すと通常再生に戻ります。
11	リモコン受光部		リモコン受光部 ここに向けてリモコン操作してください。

※本DVDプレーヤーにはイヤホン端子は装備していません。

## <リモコンボタン>



## <リモコンボタンの名称と機能>

No.	名称	表示	機能
1	電源ボタン		本体電源がON時に、電源をON⇔OFF切替ができます。 (本体電源がOFF時は、この切替はできません。)
2	時間		ディスク使用時に、チャプター指定再生/タイトル内時間指定再生/チャプター内指定再生が選択できます。 チャプター指定再生：再生中のタイトルの中のチャプターを指定再生します。 タイトル内時間指定再生：再生中のタイトル内の時間指定を数字ボタンにより指定し再生します。 チャプター内指定再生：再生中のチャプター内の時間指定再生を数字ボタンにより指定再生します。 *ディスクにより設定内容が変わりますので、画面の設定に従って入力してください。
3	数字ボタン (10キー)	1~9、 0、10+	数字を入力するときに使います。 (トラックやチャプター選択等)

## <リモコンボタンの名称と機能>

No.	名称	表示	機能
4	スロー	スロー	ボタンを押すごとに スロー再生 (1/2→1/4→1/8→1/16) ⇒逆スロー再生 (1/2→1/4→1/8→1/16) ⇒通常再生 に戻る
5	スキップ (前へ)	▶▶	前のキャプチャーまたはトラックにスキップします。
6	スキップ (後へ)	◀◀	次のキャプチャーまたはトラックにスキップします。
7	停止	■	再生中に一回押すと一時停止します。 二回押すとスタート位置に戻り停止します。
8	再生/一時停止	▶	ボタンを押すことにより再生/一時停止の切り替えをします。 また、早送り、早戻しなどその他の再生状態時に押すと通常再生に戻ります。
9	メニュー	メニュー	DVD再生中にボタンを押すとルートメニューが出ます。方向ボタン (▲▼) でメニューを選択してください。 ※ディスクによりメニューが違います。 ディスクに従って操作してください。
10	▲ 十字キー (上)	▲	▲でメニュー項目を上へ移動します。
11	▶ 十字キー (右)	▶	▶でメニュー項目を右へ移動します。
12	◀ 十字キー (左)	◀	◀でメニュー項目を左へ移動します。
13	▼ 十字キー (下)	▼	▼でメニュー項目を下へ移動します。
14	字幕	字幕	この設定をONにすると、ディスクに字幕情報が含まれている場合に字幕を画面上に表示します。 この機能は字幕情報付DVDに対応します。
15	表示	表示	タイトル・チャプターの再生経過時間を表示します。 画面オフを選択すると経過時間の表示はオフになります。 (タイトル経過時間→タイトル残り時間→チャプター経過時間→チャプター残り時間→画面表示オフ)

## <リモコンボタンの名称と機能>

No.	名称	表示	機能
16	アングル	アングル	この機能は複数のカメラアングルでエンコードされたディスクにのみ対応。押すたびにディスクに収納されたいろいろな角度の画像に切り替えます。
17	リッピング	RIPP	音楽CD再生時、USBメモリーに、mp3形式で保存できます。
18	ズーム	ズーム	ボタンを押すことにより動画シーンをズームイン（拡大）/ズームアウト（縮小）することができます。可能な倍数は2x、3x、4x、1/2、1/3、1/4 ズームインした時に上下左右（▼▲◀▶）ボタンで画面を移動できます。 （この機能はDVD、USBの動画/静止画に適用）
19	モード	モード	再生モードをDVD⇄USBの切替します。
20	PGM	PGM	DVDの場合、トラックNo. (TT) とチャプター (CH) CDの場合、トラックNo. を数字ボタン（10キー）でお好みの順に設定すると再生順を変更できます。指定後、カーソルをスタートに移動し決定ボタンを押すと再生開始します。
21	早戻し	◀◀	早戻し再生ができます。早戻しスピードは1x（通常速度）/2x/4x/8x/16x/32x
22	早送り	▶▶	早送り再生ができます。早送りスピードは1x（通常速度）/2x/4x/8x/16x/32x
23	戻る	戻る	DVDモード時にDVD内にあるタイトル（ルート）メニューを表示します。方向ボタン（▲▼）でご希望のメニューを選択してください。 タイトルメニューはDVDにより内容が異なります。方向ボタン（◀▶）で選択し決定ボタンを押すと次画面に変わります。 （メニューが入っていないディスク場合はこの機能は使えません）
24	設定	設定	各種設定のページが表示されます。方向ボタン（◀▶）で選択し、方向ボタン（▼▲）で下位メニューを選択します。 もう一度「設定」ボタンを押すと、元の画面に戻ります。（詳細説明48～50ページ）

## <リモコンボタンの名称と機能>

No.	名称	表示	機能
25	決定	決定	メニュー項目などを入力または選択し決定ボタンを押すことにより実行します。
26	音声切替	音声	ディスク内の切替可能な音声を選択します。 (ディスクによって異なります)
27	リピート	リピート	ボタンを押すことにより下記のリピートモードに切り替わります。 DVDの場合 チャプター(Chapter) リピート →タイトル (Title) リピート →オール (ALL) リピート CDの場合 トラック (Track) リピート →オール (ALL) リピート ※本体、リモコン電源ボタンをオフするとリピートは解除されます。
28	音量調整 +	+	音量+ボタンを押すと音量が増えます。
29	音量調整 -	-	音量-ボタンを押すと音量が減ります。
30	消音	消音	一時的に音が消えます。再度ボタンを押すと音が出ます。

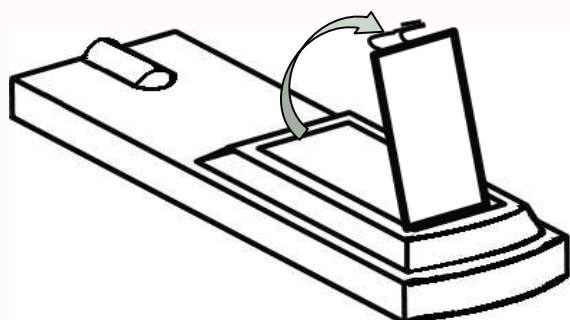


# 12-2 リモコン・本体の準備および接続

※イラスト、画像が実物と異なる場合があります。

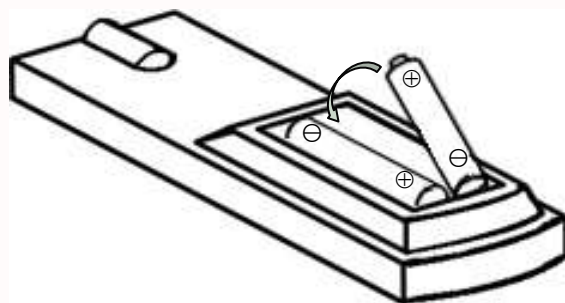
## リモコンに電池を入れる

①リモコンのふたを外す。



②乾電池をいれる。

- 単4形乾電池を使用します。
- 乾電池はホルダー内部に表示された極性にしたがって一側から横に2本並べて挿入して下さい。  
(極性に注意してください。)



③リモコンのふたを閉める。

[注意] : リモコン電池について

※リモコンの電池は、単4形乾電池(2本使用)です。製品付属の電池は動作確認用です。通常ご使用分は、別途ご用意ください。

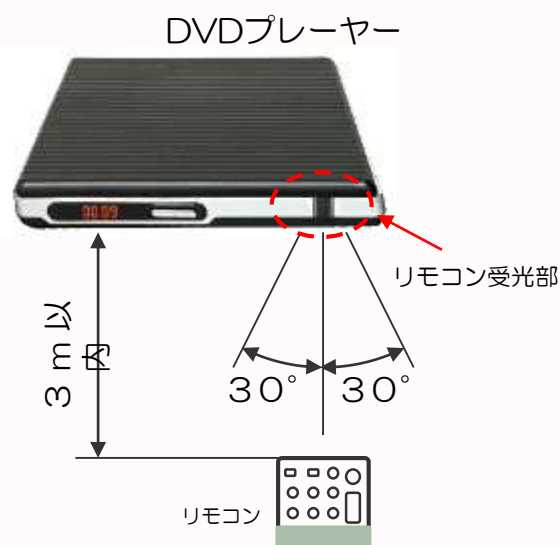
※長期間本製品を使用しない時はリモコンの電池を取り出して保管してください。

## リモコンの操作範囲

画面に対し垂直に向けて操作してください。

距離：リモコン受光部から3m以内

角度：リモコン受光部から上下左右約30度以内



## 配線、接続

配線及び接続については、本紙16ページをご参照ください。

## 保護シートの取り外し

---

出荷時の状態では、ディスクトレイ内に  
保護シートがついています。

**ご使用前に保護シートを  
はずしてからご使用ください。**

そのまま電源を入れると  
機器の破損や故障につながります。  
電源投入前に必ず取り外してください。

  
保護シートをはずす



## 配線、接続

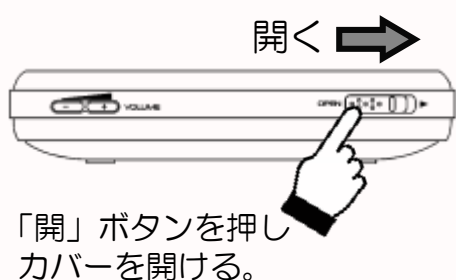
---

配線及び接続については、本紙16～17ページをご参照ください。

# 12-3 DVDモードで再生

## ディスク(DVD/CD)を入れる

- ①「開」(OPEN) ボタンを製品手前方向にスライドさせ、蓋を開ける。
- ②ディスクをセットします。  
(カチッと音がするまでしっかりと中央のホルダーにはめ込みます。)
- ③蓋を閉めると画面上に“ロード中”と表示され自動的に再生が始まります。



### ⚠ 注意

- 回転中にディスクに触れない  
けがや故障の原因になります
- 蓋を閉めるとき手をはさまない  
指や手をはさみ、けがの原因になります
- 蓋を無理に開けない  
無理に開けると故障の原因になります
- 変形、ひび割れ、接着剤などでの補修されたり、シールやフィルムなどが貼られたディスクは使用しない  
故障の原因になります。
- 本製品で再生出来ないディスクやディスク以外の異物はいれない  
故障の原因になります。
- 再生中に本製品を傾けたり揺らしたり移動させたりしない  
故障の原因になります。悪路を走行中はディスクを停止させてください。
- 長時間再生直後は、内部に触れない  
内部が熱くなることがありますのでディスクの取り出しには注意してください。

## ディスクを再生する

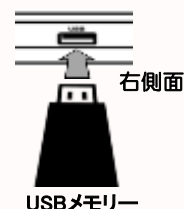
電源の接続、ディスクの挿入の確認をしてください。

- ①ナビゲーション及びポータブルDVDプレーヤー本製品の電源を入れます。
- ②ディスクが入っている場合には、ディスクを優先して自動再生します。  
ディスクが入っておらずUSBメモリーが装着されている場合には、USBモードに入ります。  
DVDとUSBがともに装着されている場合は、DVDが優先になります。  
リモコンの「モード」ボタンを押すごとにDVD⇄USBに切替ります。
- ③「▶||」を押すと再生⇄一時停止の切替ります。
- ④「■」を押すと停止します。（一回押して「一時停止」2回押して「停止」します。
- ④「◀◀、▶▶」にて前後へスキップ操作、「◀◀、▶▶」で早戻し、早送り動作ができます。  
詳しい操作については、リモコン操作（40～43ページ）をご確認ください。

## USBメモリーを再生する

パソコンなどで書き込んだ、市販のUSBメモリーの動画や音楽を再生することができます。

- ①本製品の右側面にあるおよびUSBの挿入口に動画又は音楽の入ったUSBメモリーを挿入します。
- ②本製品の電源を入れます。
- ③DVDディスクが本体内に入っていた場合には、DVD再生中に「DVD/USB」切替ボタンを押すとUSBモードに切り替わります。  
押すごとにDVD⇄USBが切替ります。
- ④USBメモリーが検出されると、USB中のフォルダやファイルが表示されます。
- ⑤再生したいデータを▲▼◀▶ボタンで選択し、「決定」(OK)ボタンを押します。
- ⑥画面の内容に従って再生をお楽しみください。



※DVD、USBメモリーによる再生時の各種操作に関しては、40～43ページのリモコンの各操作ツマミをご参照ください。

※USB内のメディア名、ファイル名は正しく表記されない場合があります。

※DVDプレーヤー使用時は、音声はナビゲーション本体のスピーカーからのみご視聴できます、ナビゲーションのイヤホン端子からはご視聴できませんのでご了承ください。

## 設定のしかた

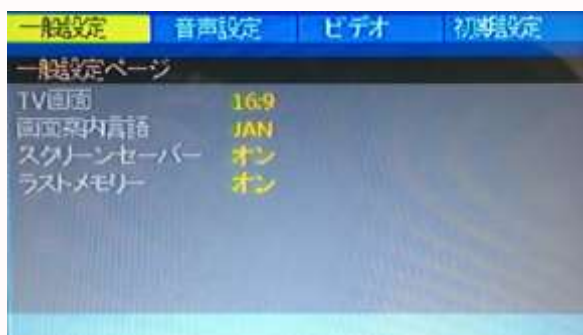
「設定」ボタンでさまざまな設定、昨日の選択ができます。

1. リモコンの「設定」ボタンを押すと、各々の設定メニュー画面が表示されます。
2. 「十字キー（▲▼）」ボタンを使って
  - (1) 一般設定
  - (2) 音声設定
  - (3) ビデオ
  - (4) 初期設定のページを選び、「▶」ボタンで各ページを表示します。
3. 次に「十字キー（▲▼）」ボタンで上下移動でメニューを選び（▶または◀）ボタンでカーソルを移動後、「決定」ボタンを押します。
4. 再度、「設定」ボタンを押すと元の画面に戻ります。

### (1) 一般設定

「一般設定」では、下記設定ができます。

- ◎TV画面
- ◎画面案内言語
- ◎スクリーンセーバー
- ◎ラストメモリー



#### ◎TV画面

ノーマル/PS ⇄ ノーマル/LB ⇄ 16:9

- ノーマル/PS  
通常のテレビ（4：3）に接続した場合、ワイド画面（16：9）イメージは縦いっぱいに表示され左右の一部がカットされて再生します。
- ノーマル/LB  
通常のテレビ（4：3）に接続した場合、ワイド画面（16：9）イメージは上下に帯が入って再生されます。
- 16：9  
ワイドテレビ（16：9）に接続した場合、ワイド画面（16：9）のディスクを再生した場合にはフル画像で再生されます。  
水平方向にすべて画像がおさまるように伸縮されて表示されます。

#### ◎画面案内言語

英語 ⇄ 日本語  
設定メニューの言語を選択します。

#### ◎スクリーンセーバー

オン⇄オフ

画面上の画像が静止したまま、例えばディスクを数分間PAUSE、STOPなどしたとき画面にスクリーンセーバーが表示されます。スクリーンセーバーが表示中、いずれかの操作ボタンを押すと元の状態に戻ります。

## ◎ラストメモリー（ラストメモリー）

オン⇄オフ

この機能をオンにしたとき、再生中にディスクの扉を開いたりディスクを停止した場合、最後に再生した部分を記憶する機能です。

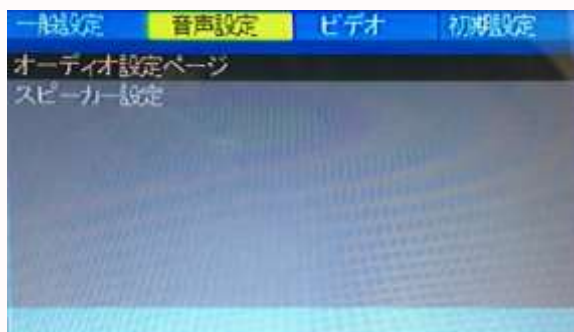
ディスクを再生するときに記憶した箇所から再生が始まります。ほかのディスクを読み込むとメモリーは消えます。

※ディスクによりラストメモリー再生ができない場合があります。

（ディスクによりシーンやディスク全体でラストメモリー再生を禁止している場合があります。）

## （２）音声設定

音声モードのダウンミックス設定をします。



オーディオ設定ページ スピーカー設定

### ◎ダウンミックス

LT/RT (LTRT) ⇄ステレオ (STR)

左右のスピーカーにサラウンド音声の場合に、左右の信号の処理方法を選択できます。

#### • LT/RT (LTRT)

ディスクに収録されているサラウンド音声をミックスされて出力します。

#### • ステレオ (STR)

ディスクに収録されているフロントの左右のみ出力します。

## （３）ビデオ

{ビデオ} では、下記画質設定ができます。

ビデオ設定ページ

### ◎シャープネス

高⇄中⇄低

画像の輪郭をシャープ(協調)にしたりソフトに調整することができます。

### ◎明るさ

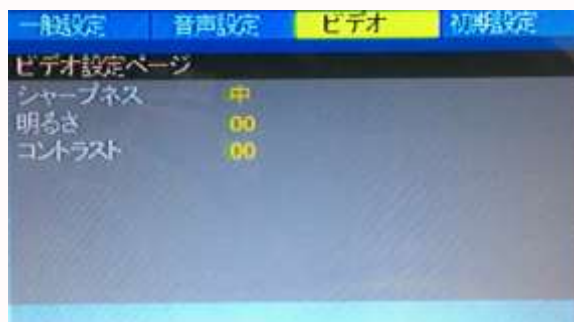
-20~0~+20

画質の明るさを調整することができます。

### ◎コントラスト

-16~0~+16

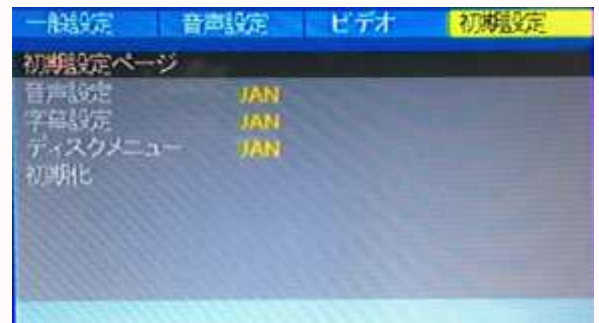
色のコントラスト（明暗の差）を調整することができます。



## (4) 初期設定

「初期設定」では下記設定ができます。

- ◎音声設定
- ◎字幕設定
- ◎ディスクメニュー
- ◎初期化



ビデオ設定ページ

### ◎音声設定

英語 (ENG) ⇄ 日本語 (JAN)

音声設定の変更ができます。(ディスクによりできない場合があります)

### ◎字幕設定

英語 (ENG) ⇄ 日本語 (JAN)

字幕設定の変更ができます。(ディスクによりできない場合があります)

### ◎ディスクメニュー

英語 (ENG) ⇄ 日本語 (JAN)

ディスクの指定言語の変更ができます。(ディスクによりできない場合があります)

### ◎初期化

リセットオン

設定を工場出荷時の初期設定に戻すことができます。

# 13. 音楽CDのファイルの保存 (リッピング)

本製品は、音楽CDの曲をUSBメモリー(USB)にmp3形式で保存することができます。

## ～録音(リッピング)のしかた～

- ①本製品の右側面にあるUSBの挿入口にUSBメモリーを挿入する。
- ②本製品の電源を入れる。
- ③音楽CDを装填する。
- ④、リモコンの「CDリッピング」ボタンを押す。
- ⑤「CD RIPPING」画面が表示されます。
- ⑥オプションの設定を確認し、必要な変更をする。  
(リモコンの▲▼◀▶ボタンでカーソル移動、「決定」ボタンで切替ができます。)

◎スピード (リッピングの速さ)

: 正常(通常速度) / ファースト (約2倍速)

◎Bitrate (ビットレート)

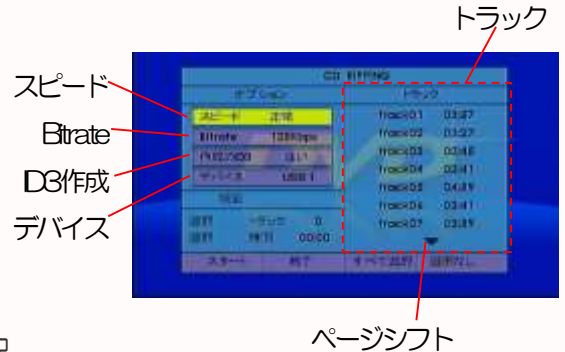
: 96k / 112k / 128k / 192k / 256k / 320kbps

◎ID3 作成

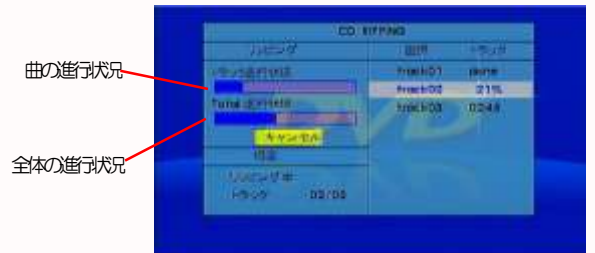
: はい / いいえ

◎デバイス (保存先)

: USB 1 (装着時) ⇔ None (未装着時)



- ⑦『トラック』ページでリッピングするトラックを選択。
  - ・「✓」(チェック)で選択状態となります。
  - ・ページに表示されている▼(または▲)を選び「決定」ボタンを押すと、トラック表示のページシフトができます。(ページを変えることができます。)
- ⑧全トラックを選ぶ場合は『すべて選択』を選び「決定」ボタンを押す。
- ⑨選択をクリアする場合は『選択なし』を選び「決定」ボタンを押す。
- ⑩『スタート』を選び「決定」ボタンを押すと、リッピングを開始する。(進行状況を表示)
- ⑪途中でやめるときは直ぐに「決定」ボタンを押す。
- ⑫『終了』を選び「決定」ボタンを押すと、リッピングを終了。



※作成したmp3ファイルは“RIPPING”フォルダの下にファイル名「TRACK x x x (連番)」で作成されます。なお、このファイル名は「リッピングしたトラック番号」ではありません。  
※本製品にはリアルタイムクロック機能等がないため、作成したmp3ファイルのタイムスタンプは“2008/01/01”固定となります。

### 使用上のご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。



# 14 ソフトウェア仕様

項目		仕様
地図部門	全国道路地図	住友電工システムソリューション(株)製 最新全国拡張道路地図搭載(2018年度リリース)
	昼夜画面切り替え	○(昼:夜手動/自動切替)
	縮尺切り替え	○12段階(25m~100km)
	ルート検索機能	おすすめ・高速道路優先・一般道路優先 ・距離優先・複数ルート表示
	リルート機能	○(自動・手動)
	トンネルアシスト	○(ナビ走行時)
	スカイモード	○(4モード)
	右左折案内	○(大文字右左折表示)
	一方通行表示	○(地図尺度50m以下)
	到着予想時刻表示	○
	目的地までの距離表示	○
	オービス情報	○(音声警告・位置文字表示)
	高速道路表示	○(前後IC表示・スクロール機能付)
	ウォーキング表示	○
	地図表記言語	日本語
	ノースアップ/ヘッドアップ切替	○(北方向上/自車方向上)切替
	スマートインターチェンジ対応	○
	アプローチチャイム機能	○
デモ走行機能	○	
検索	電話番号検索	1000万件(企業)
	住所検索	3600万件
	施設名検索	50万件
	周辺施設検索	50万件
	コンビニ・GS優先表示	○
登録機能	検索地点履歴	100ヶ所
	地点登録	1200ヶ所
	自宅登録	○
	かんたん自宅登録機能	○

※本機のデザイン・仕様は予告なく変更する場合がございます。

※地図情報に関しては、全ての情報は網羅されていない場合があります。

# 15 ハードウェア仕様(ナビゲーション)

項目		仕様
液晶表示器	型名	TNK-740DTD
	種類 (TFTなど)	液晶：TFT バックライト：LED
	サイズ (インチ)	7インチ
	解像度(横×縦)	800x480 pixel
	視野角 (上下左右)	(上30° 下15° 左30° 右30°)
	輝度	200 cd/m <sup>2</sup>
タッチパネル		静電容量式
CPU		MSB2531 ARM Cortex-A7 800MHz
内蔵メモリ		128MB(DDR SDRAM) Flash 8GB
OS		Microsoft WindowsCE 6.0
音声出力		1.5 W X1
入出力端子	microSDカードスロット	1スロット (メディア用) 対応16GB以下
	再生動画フォーマット	ASF/AVI/WMV/MPG
	再生音楽フォーマット	MP3/WMA
	再生画像フォーマット	JPG/BMP
TV受信	TV受信	ワンセグ (470-770MHz)
	ワンセグ録画機能	録画可能 (録画はワンセグのみ)
その他	エンジンon/off 連動機能	○
電源	電源電圧	DC5V (miniUSBタイプ入力端子)
	消費電力(W)	1.5W
	待機時消費電力	20mW以下
内蔵 バッテリー	種類	リチウムポリマー
	容量(mAh)/電圧(V)	1600mAh / 3.7V
	駆動時間	約1時間
	充電時間	約4時間
サイズ		(約178mm x 110mm x 14mm)
質量		(約260g)
動作温度		0~45℃
保存温度		-10~60℃
付属品		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 車載用DCアダプター (入力：DC12-24V)</li> <li>• 車載用吸盤スタンド一式</li> <li>• 吸盤ベース板</li> <li>• 取扱説明書 (保証書付き)</li> <li>• ポータブルDVDプレーヤー</li> <li>• AVケーブル (付属ポータブルDVDプレーヤー専用)</li> <li>• リモコン (付属ポータブルDVDプレーヤー専用)</li> <li>• リモコン用乾電池</li> </ul>

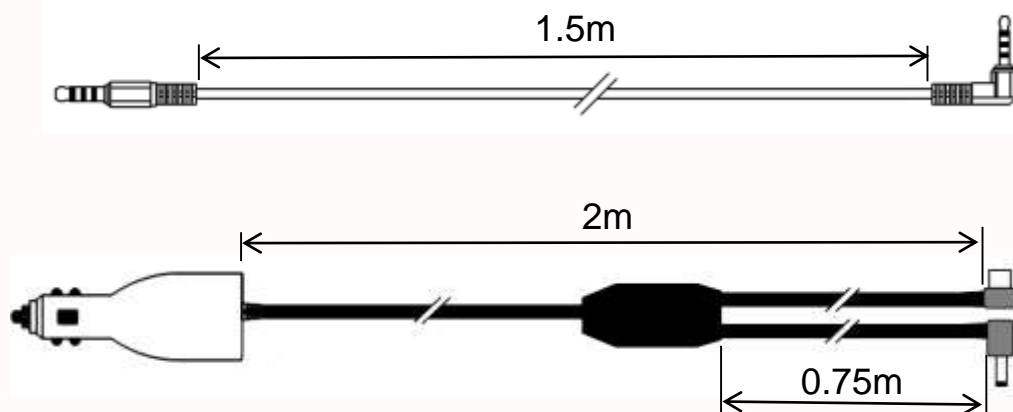
※本機のデザイン・仕様は予告なく変更する場合がございます。

# 16 ポータブルDVDプレーヤー仕様

出力端子		Φ3.5mmAV出力端子
再生可能メディア	DVD/CD	DVD DVD-R/-RW (VRモード/CPRM対応) CD CD-R/-RW
	USB	USB2.0 (最大16GB)
再生フォーマット	動画	MPEG.AVI
	音楽	MP3
	静止画	JPEG
本体入力電圧		5V
消費電力		5W
外形寸法		約130 (W)× 160 (H) × 26 (D) [mm]
質量		約250 [g]

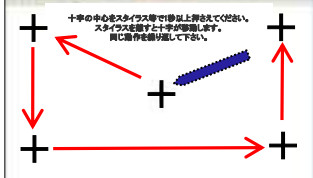
※本機のデザイン・仕様は予告なく変更する場合がございます。

## 配線ケーブル寸法



# 17 困ったときには

修理を依頼する前に、以下のことを確かめてください。

●電源・ バッテリー について	●電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>バッテリー残量が少ない可能性があります。十分充電してください。(充電中はランプが点灯します。)</li> <li>ハードリセットを行い、再起動を確認してください。</li> </ul>
	●バッテリーの持続時間が短い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>バッテリーの寿命の可能性がありま。サポートセンターにご相談ください。</li> </ul>
●本体に ついて	●画面が暗くて見えない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定で暗くなっている可能性があります。明るさを調整してください。</li> </ul>
	●画面が消える／映らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動OFF設定が設定されている可能性があります。設定を解除してください。</li> <li>設定→バックライト設定→自動OFF設定を「常にON」にする。</li> </ul>
	●タッチパネルの反応が悪い。ボタンが押せない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護フィルムをはがしてください。</li> <li>タッチポイントの位置がずれている可能性があります。設定の画面補正で修正してください。</li> </ul>
	●画面が真っ白になる。(画面補正の画面になる)	<p>※画面補正画面の指示に従い「+」をタッチし続けてください。(「+」を長押しして、移動したら次の「+」を長押しします。)</p> 
	●音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>音量ボリュームを確認してください。</li> </ul>
●テレビが受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンテナを伸ばして下さい。</li> <li>受信環境の良いところに移動してください。</li> <li>スキャンを行い受信可能な放送局を設定してください。</li> </ul>	
●GPS 受信 について	●電源を入れた時、GPSの受信ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めて使用する時や長時間使用していない時は、コールドスタートとなり、受信に時間がかかります。屋外の空の開けた場所で受信できるまで待ってください。</li> </ul>
	●電源OFFのまま長距離移動後GPS受信しにくい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPSの情報を再設定するため受信に時間がかかります。一度受信しましたらその後は早く受信できます。</li> </ul>
	●GPS感度が悪く自車位置が捕らえにくい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体の取付け位置を電波の入りやすい位置に移動してみてください。</li> </ul>
	●GPSを受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>受信しやすい位置に移動して設置ください。</li> </ul>
●ソフト 動作 について	●動作エラーが発生する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リセットを行うか電源を入れ直してください。</li> </ul>
	●動作が停止又は不安定。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リセットを行うか電源を入れ直してください。</li> </ul>
	●正しい時刻が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>メインメニューの設定で、時刻設定を行ってください。</li> <li>GPSを受信してください。</li> </ul>

# 18 お問い合わせ先

※電話番号のかけ間違いの無いように十分ご注意ください。

## 機器に関する問い合わせ

株式会社 カイハウジャパン サポートセンター

E-MAIL : [Info@kaihou.com](mailto:Info@kaihou.com)

電話 : 042-631-5357

FAX : 042-631-5359

営業時間 : 平日10:00~17:00

(土日祝祭日は休み)

## 地図情報、地図更新、ナビ操作に関する問い合わせ

ナビゲーション地図サポート

サポートページ : <http://www.mapnet.co.jp/kaihou>

E-MAIL : [mapque@mapnet.co.jp](mailto:mapque@mapnet.co.jp)

電話 : 03-3516-6080

FAX : 03-3516-6387

営業時間 : 平日10:00~17:00

(土日祝祭日は休み)

< x Ɛ >

< x Ɛ >

発 売 元

株式会社 カイホウジャパン

〒192-0906

東京都八王子市北野町 598-11 

カイホウジャパンホームページ <http://www.kaihou.com/>